

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

農 薬 抄 録

一般名 : フルアジナム
(用途別種類名) 「殺菌剤」

(作成年月日)

平成24年11月21日改訂

(作成会社名) **石原産業株式会社**

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

目 次

	頁
1. 開発の経緯-----	1
2. 物理的・化学的性状-----	6
3. 生物活性-----	18
4. 適用及び使用上の注意-----	22
5. 農薬残留量-----	36
6. 有用動植物等に及ぼす影響-----	81
7. 使用時安全上の注意、解毒法等-----	106
8. 毒性-----	109
8.1 急性毒性-----	121
8.2 皮膚及び眼に対する刺激性、皮膚感作性-----	133
8.3 急性神経毒性-----	145
8.4 亜急性毒性-----	147
8.5 慢性毒性及び発がん性-----	177
8.6 繁殖性に及ぼす影響及び催奇形性-----	254
8.7 変異原性-----	287
8.8 生体機能影響-----	308
8.9 その他の毒性-----	311
8.10 代謝物の毒性-----	344
8.11 製剤の毒性-----	369
9. 動植物及び土壌等における代謝分解-----	411
9.1 動物体内運命に関する試験-----	423
9.2 植物体内運命に関する試験-----	503
9.3 土壌中運命に関する試験-----	563
9.4 水中運命に関する試験-----	592
[附]フルアジナムの開発年表-----	620

1. 開発の経緯

1.1 発明の背景

わが国では現在農作物の病害を防除するため、主として病害の発生を予防する殺菌剤と病害の治療を主な目的とする殺菌剤を有効に組み合わせて使用される場合が多いが、最近の傾向として治療効果の高い殺菌剤が多く使用される状況にある。

しかし、その結果一部地域ではこれらの殺菌剤に耐性を持つ病原菌の発達が見られ、更にこれが拡大する恐れがあることが指摘されており、総合防除の観点から予防効果を有する殺菌剤の出現を望む声が高まっている。

このような背景から、当社は、除草剤、殺虫剤の研究に併行して新規殺菌剤の研究を進めるなかで、
年後半に新しい化学構造を持つ予防的殺菌剤フルアジナム (試験名:)を発明するに至った。

1.2 開発の経過

フルアジナムの開発年表を本抄録の末尾に掲げるが、その経過を以下に述べる。

1) 基礎研究

当社は、前述の通り 年 月に高い殺菌効果を持つ新規化合物の探索に成功、更に高活性で安全性の高い化合物の探索を進め、 年 月殺菌剤として新しい化学構造を持ったフルアジナムを発明するに至った。その後、 年、 年の両年に亘る当社中央研究所における各種検討結果 (生物活性、薬害、製剤、安全性等に関する基礎評価試験)を総合し、 年より主に果樹病害を対象として50%水和剤による社外での試験を開始した。

フルアジナムの主な特性は次の通りである。

- ① 高い予防効果に加え、適度の残効性を有する保護殺菌剤としての特性を持ち、治療効果や浸透移行性はほとんどない。
- ② 広範な病害の発生を予防する効果がある。
- ③ 問題となっているベンズイミダゾール系やジカルボキシイミド系薬剤の耐性菌 (ベンチェリア属、ボトリティス属等) にも高い効果がある。
- ④ ハダニ類に対する殺ダニ効果があり、天敵に対する影響はないので防除負荷の軽減によるハダニ剤の散布回数を減少させる副次効果が期待できる。

2) 開発研究

基礎研究の結果に基づいて、50%水和剤について 年より日本植物防疫協会 (以下日植防と略記)に果樹病害を中心とした委託試験を開始した。その後、引き続き適用病害虫を拡大し、対象作物もかんきつ、りんご、なし、もも、ぶどう等の果樹に加えて、麦類、ばれいしょ、たまねぎ、あずき、いんげんまめ、茶等を追加し、日植防委託試験を継続し、 年に登録申請を行い、 年 月に登録認可された以降も適用拡大を継続してきている。

この水和剤については、通常の茎葉散布処理に加え、ばれいしょの粉状そうか病対象に全面土壌

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

散布・混和処理による登録も 年に認可、近年は畑作少水量散布への適用拡大も続けている。
る。

一方、0.5%粉剤については 年より、土壌施用によるアブラナ科野菜（キャベツ、はくさい）の土壌病害に対する日植防委託試験を開始し、 年に登録申請を行い、 年月に登録認可された以降も適用拡大を進めている。レタスのビッグベイン病には 年に認可された。

国外における開発についても、積極的に開発を進め、現在では、1.4 諸外国における登録状況に示す国々で登録が認可されている。 においては、 年にばれいしょ、らっかせいを対象に登録が認可され、更に
適用拡大を進めている。 においては、 登録申請を
年に行い、 年に登録が認可されている。

3) 安全性研究

前述の基礎研究段階に、当社は基礎的な試験研究によってフルアジナムの安全性を予備的に評価した。更に 年からは登録申請を前提とした一連の安全性試験を開始し、その全てを完了し、登録申請に提出し評価を受けて登録認可に到っている。その後の要件の追加に伴う安全性試験も都度実施してきており、登録に係る安全性試験の概要は本抄録の以下に示す通りである。

4) フルアジナムは広範な病害に予防効果を示し、残効性も期待できることから、多種類の病害の同時防除に有効に使用でき、更に薬剤耐性菌に対しても同様に効果を示すことから、総合防除体系の中での基幹防除薬剤として役割を十分果たし得るものと考えられる。また、副次的にハダニに対する効果が期待できる点より、ハダニ剤の防除負荷の軽減による散布回数の減少にも役立つものと考えられる。

人畜に対する安全性も高く、自然環境に対しても適性な使用条件を守ることにより悪影響を及ぼす惧れはないと判断される。

1.3 SC 剤の開発の経過

年（ 年）月 日に水和剤、粉剤 が同時に登録認可された。その後、適用拡大を行い、現在（平成 21 年）、水和剤（23 作物、48 病害虫）、粉剤（24 作物、17 病害）に登録認可されている。

水和剤の登録後に発生したかぶれ問題に関連して、SC 剤をその取扱い易さ、効果、散布された植物体からのフルアジナムの剥離の減少によるヒト皮膚への付着量の低下等から着目し、社内外で開発のための試験を開始した。

SC 剤についての製剤毒性について試験を行ったが、急性経口毒性試験を含む 7 項目の一般毒性試験並びにコイの急性毒性を含む 3 項目の有用生物に及ぼす影響試験のすべてに亘り、特に水和剤との差はみられていない。また、作物残留性及び土壌残留性についても同様である。

フロンサイド SC 剤は現行水和剤に比し、かぶれ防止の観点からは改善が認められ、且つ薬効面においても向上がみられるので、よりよい剤として商品化を決定した。農薬登録申請に当っては、第一の段階としてリエントリーの観点から果樹に限定し、年度（ 年）より日植防委託試験に供試し、開発を進めた。その結果、日植防主催の審査会において総合審査結果を得て、年にかんきつ、りんご、なし、もも及びぶどうの 5 作物で登録申請し、年 月に認可された。

その他の作物についても更に試験を重ね逐次適用拡大を行い、現在（平成 21 年）、茎葉散布処理に加え、果樹の白紋羽病対象の土壌灌注処理、アブラナ科野菜の根こぶ病、レタスすそ枯病等対象の全面土壌散布・混和処理も含めて、19 作物に登録認可されている。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

1.4 諸外国における登録状況

フルアジナムの諸外国における登録取得状況は次の通りである。

国名	登録 取得年	主な適用作物	国名	登録 取得年	主な適用作物

国名	登録 取得年	主な適用作物

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

国名	登録 取得年	主な適用作物

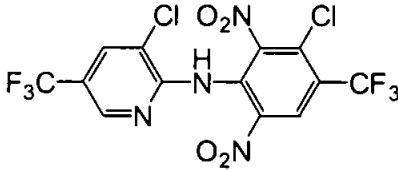
2. 物理的・化学的性状

2.1 有効成分の名称及び化学構造

- 1) 有効成分の一般名 フルアジナム
 fluazinam (ISO 名)

- 2) 別 名 商品名 フロンサイド®、FROWNCIDE®、SHIRLAN®
 試験名 B-1216、IKF-1216 (石原産業株式会社)
 CGA 143268 (CIBA-GEIGY Ltd.)
 PP 192 (Imperial Chemical Industries, Plc.)

- 3) 化学名
IUPAC 3-クロロ-N-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジル)- α, α, α -トリフルオロ-2,6-ジニトロ-p-トルイジン
 3-chloro-N-(3-chloro-5-trifluoromethyl-2-pyridyl)- α, α, α -trifluoro-2,6-dinitro-*p*-toluidine
CA 3-クロロ-N-[3-クロロ-2,6-ジニトロ-4-(トリフルオロメチル)-フェニル]-5-(トリフルオロメチル)-2-ピリジンアミン
 3-chloro-N-[3-chloro-2,6-dinitro-4-(trifluoromethyl)-phenyl]-5-(trifluoromethyl)-2-pyridinamine

- 4) 構造式


- 5) 分子式 C₁₃H₄Cl₂F₆N₄O₄
- 6) 分子量 465.1
- 7) CAS 番号 79622-59-6

2.2 有効成分の物理的・化学的性状

- 1) 外観・臭気 黄色結晶状固体、無臭 Munsell 色調表、官能法 (、1991年)
- 2) 密度 1.757 g/ml (20°C) 比重瓶法 (、1986年)
- 3) 融点 117°C DSC 法 (EEC-Method A.1) (、1993年、GLP)
- 4) 沸点 150°C で不安定、沸点測定できず
- 5) 蒸気圧 2.3×10⁻⁵ Pa (25°C) 気体流動法 (EPA ガイドライン 63-9) (、1992年、GLP)
 1.3×10⁻⁴ Pa (35°C) 気体流動法
 6.7×10⁻⁴ Pa (45°C) 気体流動法

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

6) 溶解度 (25°C) フラスコ振とう法 (EPA ガイドライン 63-8) (, 1993 年、GLP)

水	pH 5	0.131 mg/L		
	pH 7	0.157 mg/L		
	pH 9	3.384 mg/L		
n-ヘキサン		8 g/L	オクタノール	41 g/L
トルエン		451 g/L	酢酸エチル	722 g/L
ジクロロメタン		675 g/L	エチルエーテル	231 g/L
アセトン		853 g/L	メタノール	192 g/L

7) 解離定数 pKa=7.34 分光光度法 (EPA ガイドライン 63-10)(, 1992 年、GLP)

8) 分配係数 (n-オクタノール/水) log Pow=4.03 (25°C) フラスコ振とう法
(EPA ガイドライン 63-11) (, 1992 年、GLP)

9) 生物濃縮性 ¹⁴C(Ph)77ジナム : BCF_{ss} = 1090、BCF_k = 1018 ± 96
¹⁴C(Py)77ジナム : BCF_{ss} = 960、BCF_k = 827 ± 60
流水式 (, 1994 年、GLP)

10) 土壌吸着係数 K_{oc} = 950~2711 (25°C)、K = 20.9~123.0
(OECD ガイドライン 106) ()

11) 加水分解性 酸、アルカリ (West German MerkBlatt55 ガイドライン) (, 1985 年)
pH5 (22°C) 安定
pH7 (22°C) t_{1/2} = 42 日
pH9 (22°C) t_{1/2} = 5.6 日

12) 水中光分解性

滅菌緩衝液 pH 5	自然光 : 半減期2日	1985年
	4.5×10 ⁻⁷ ~3.5×10 ⁻⁴ W/cm ² (365 nm) 1.4×10 ⁻⁵ ~2.4×10 ⁻⁴ W/cm ² (297 nm)	
蒸留水 (pH 6)	自然光 : 半減期2日	
	4.5×10 ⁻⁷ ~3.5×10 ⁻⁴ W/cm ² (365 nm) 1.4×10 ⁻⁵ ~2.4×10 ⁻⁴ W/cm ² (297 nm)	
滅菌緩衝液 pH 9	自然光 : 半減期3日	
	4.5×10 ⁻⁷ ~3.5×10 ⁻⁴ W/cm ² (365 nm) 1.4×10 ⁻⁵ ~2.4×10 ⁻⁴ W/cm ² (297 nm)	
自然水	自然水 人工光区 : 半減期 18.1日 暗所区 : 半減期 135.9日	2003年、GLP 12農産第8147号
	25°C、光強度 27.5 W/m ² (300~400 nm) 281.8 W/m ² (300~800 nm)	

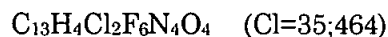
13) 安定性

熱 熱重量分析法 ()、1992年)
 分解開始温度が、空气中で 177°C、窒素ガス中で 178°Cであった。

14) 質量、IR、UV、¹H-NMR 及び ¹³C-NMR スペクトル

① 質量スペクトル ()

EI-DI (直接導入法)により測定した質量スペクトラムを図-1 に示した。



465	M+1	
464	M	
445	M-19	-F
418	M-46	-NO ₂
372	M-92	-2NO ₂

② IR スペクトル ()

KBr 錠剤透過法により測定した IR スペクトラムを図-2 に示した。

③ UV スペクトル (, 1997年)

pH 7 に調製したメタノール溶液中で測定した UV スペクトラムを図-3 に示した。

$$\lambda = [\text{nm}] \quad \epsilon = (\text{L} / \text{mol} \cdot \text{cm})$$

$\lambda \text{ max.} / \epsilon \text{ max.}$

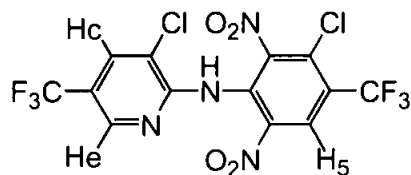
239.3 / 18588

341.1 / 7251

④ ¹H-NMR スペクトル ()

CDCl₃ 溶媒中で測定した ¹H-NMR スペクトルを図-4 に示した。

各シグナルの帰属を次に示す。



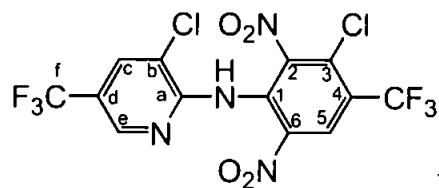
ケミカルシフト (ppm)	プロトン
8.912 (¹ H, S)	-NH- (アミノプロトン)
8.594 (¹ H, S)	H ₅ (ベンゼン環 5 位)
8.246 (¹ H, d, J=1.6Hz)	He (ピリジン環 6 位)
7.937 (¹ H, d, J=2.0Hz)	Hc (ピリジン環 4 位)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

⑤ ^{13}C -NMR スペクトル ()

CDCl_3 溶媒中で測定した ^{13}C -NMR スペクトルを図-5 に示した。

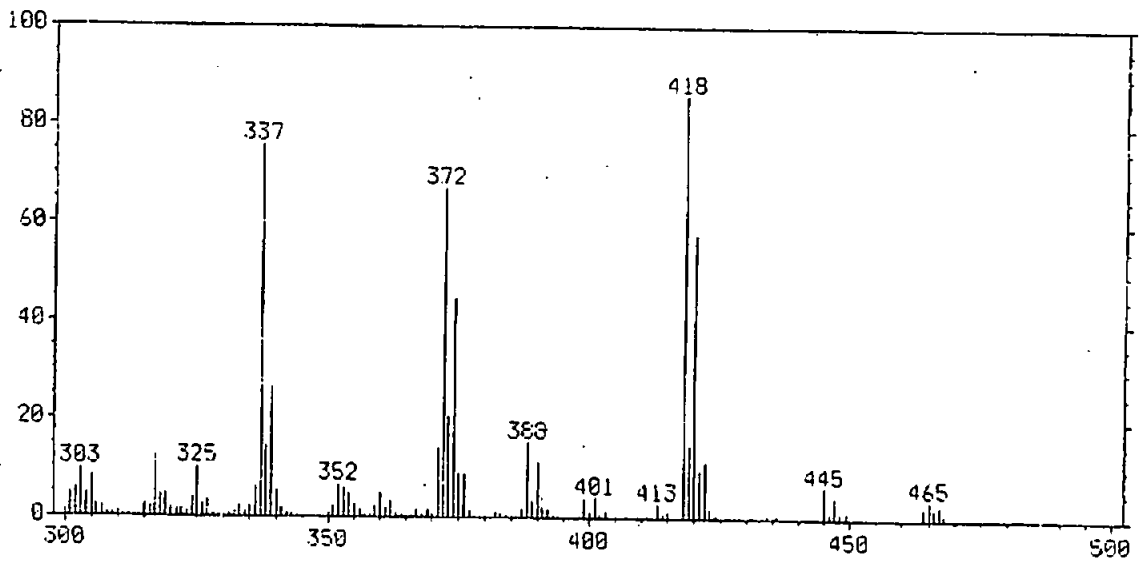
各シグナルの帰属を次に示す。



ケミカルシフト (ppm)	カップリング (Hz)	アサイン
122.516	q 272.2	ピリジン環 f
142.709	q 4.0	" e
125.407	q 34.0	" d
135.316	q 3.2	" c
118.507		" b
150.266		" a
121.051	q 273.7	ベンゼン環 7
140.517		" 6
126.118	q 4.7	" 5
122.954	q 34.4	" 4
131.131		" 3
145.926		" 2
131.880		" 1

図-1 質量スペクトル

MASS SPECTRUM Data File: IKF1216 15-JUL-88 10:48
Sample: IKF1216
RT 2'18" EI (Pos.) GC 33.1c BP: m/z 69.0000 Int. 58.1551 Lv 0.00
Scan# (139) - (7, 160) [coef. 1.00]. AMW = 373.527(369.243)



Spec Print Mag Range SetNO AddNO SubNO ShuSO Next Back? L Sea Param
MSO> 1 2 3 4 5 6 7 8 9

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

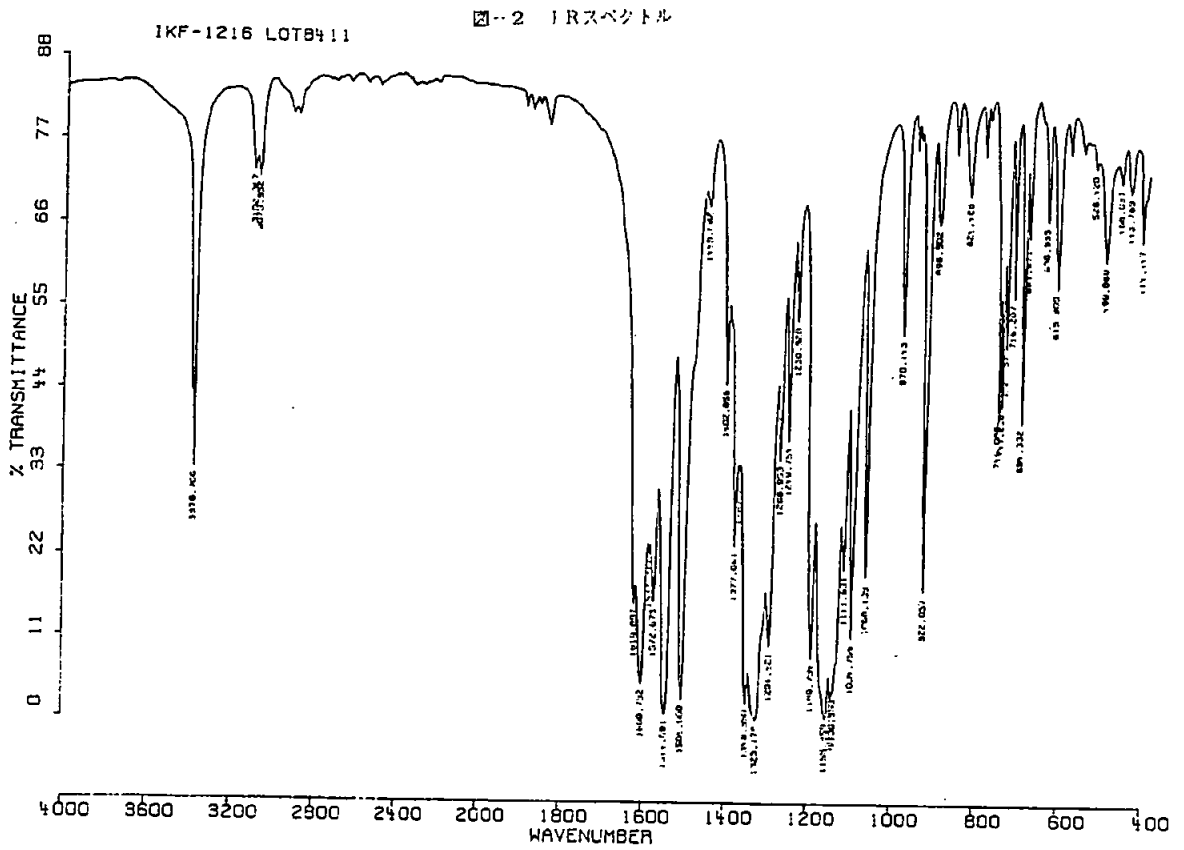


図-3 UVスペクトル

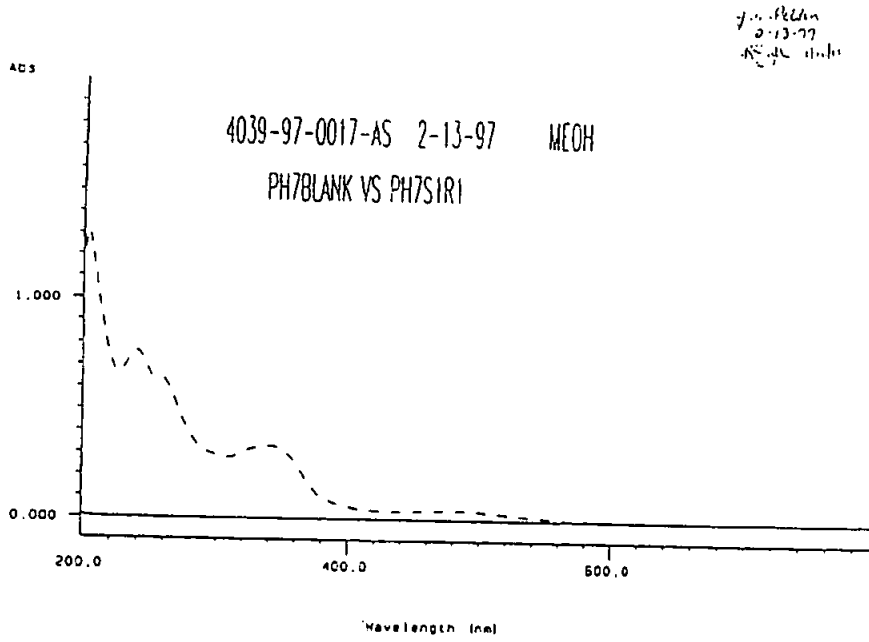


Figure B-5: UV/Visible Spectrum of IKF-1216 ($1 \times 10^{-3} M$) in Methanol at pH 7 (A Rep. 1)

Report/KF-1216
4039-97-0017-AS-001

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

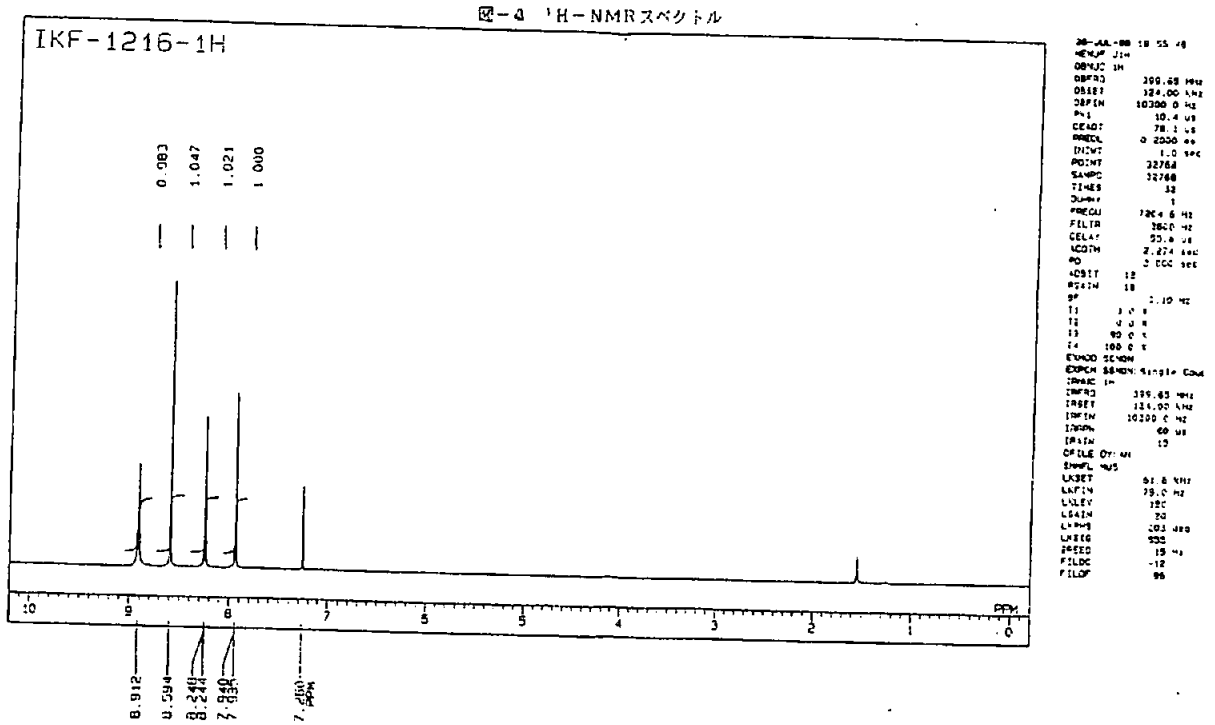
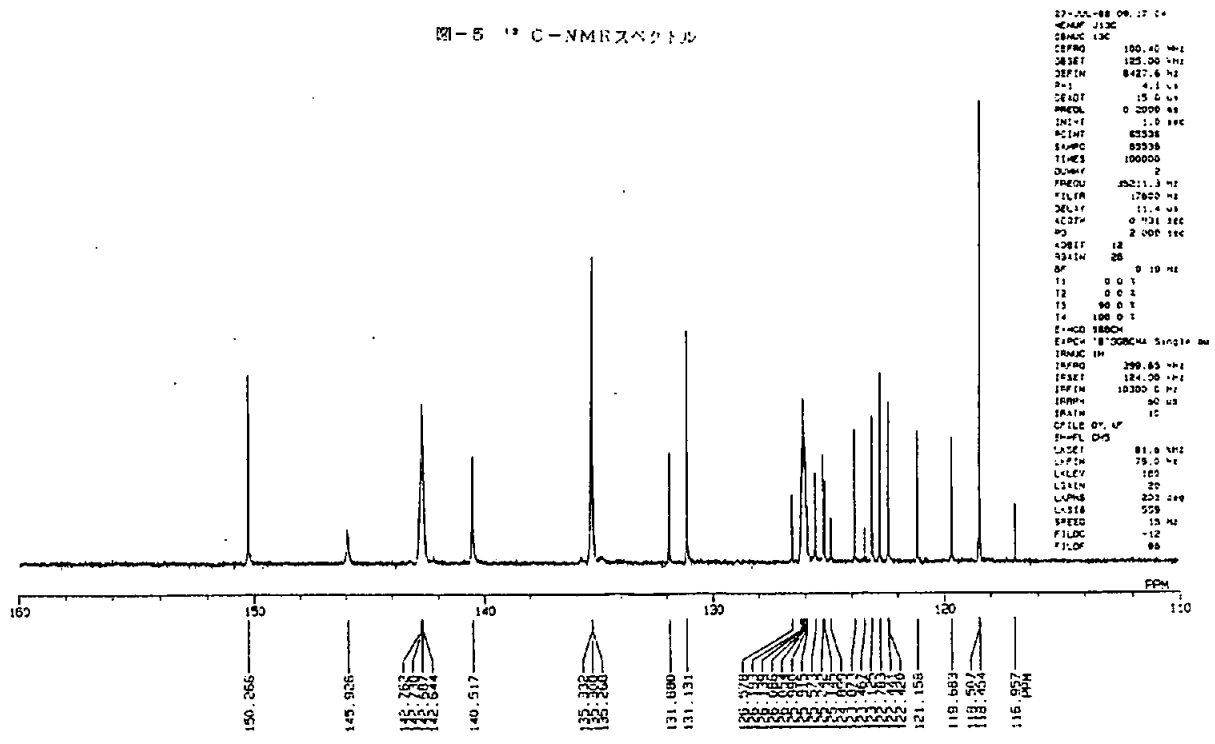


図-5 ^{13}C -NMRスペクトル



2.3 原体の成分組成

区分	名 称		構造式	分子式	分子量	含有量 (%)	
	一般名	化学名				規格値	通常のレンジ
有効成分	カルアジナム	3-chloro- <i>N</i> -(3-chloro-5-trifluoromethyl-2-pyridyl)- α, α, α -trifluoro-2,6-dinitro- <i>p</i> -toluidine		$C_{13}H_4Cl_2F_6N_4O_4$	465.1		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

区分	名 称		構造式	分子式	分子量	含有量 (%)	
	一般名	化 学 名				規格値	通常のレンジ

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

2.4 製剤の組成

50%水和剤	フルアジナム原体	50.0%
	鉍物質微粉、界面活性剤等	50.0%
0.5%粉剤	フルアジナム原体	0.50%
	鉍物質微粉等	99.5%
39.5%SC 剤 (水和剤)	フルアジナム原体	39.5%
	水、界面活性剤等	60.5%

3. 生物活性

3.1 活性の範囲

本剤は、高い予防効果に加え適度に長い残効性を有する保護殺菌剤であり、治療効果や浸透移行性はほとんど認められない。

本剤の抗菌スペクトラムは広く、中でも特にアルタナリア属、ボトリオスファエリア属、ボトリティス属、コレトトリカム属、ディプロカルポン属、エルシノエ属、モニリニア属、フィトフィトラ属、プラズモディオフォラ属、プラズモパラ属、フィザロスポーラ属、スクレロティニア属、リゾクトニア属並びにベンチュリア属菌による果樹、野菜、豆類、いも類、茶、麦類並びに芝等の各種病害に対して効果を示すことが国公立試験機関による多くの実用化試験において確認されている。それらのうち主たる病害は以下の通りである。

作物名	病害名	病原菌名
りんご	斑点落葉病	<i>Alternaria mali</i>
	黒星病	<i>Venturia inaequalis</i>
	輪紋病	<i>Botryosphaeria berengeriana</i>
	褐斑病	<i>Diplocarpon mali</i>
	すす点病	<i>Zygophiala jamaicensis</i>
	すす斑病	<i>Gloeodes pomigene</i>
	紫紋羽病	<i>Helicobasidium mompa</i>
なし	黒斑病	<i>Alternaria kikuchiana</i>
	黒星病	<i>Venturia nashicola</i>
	輪紋病	<i>Physalospora piricola</i>
	白紋羽病	<i>Rosellinia necatrix</i>
ぶどう	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>
	べと病	<i>Plasmopara viticola</i>
	黒とう病	<i>Elsinoe ampelina</i>
	枝膨病	<i>Phomopsis sp.</i>
	晩腐病	<i>Glomerella cingulata</i>
もも	灰星病	<i>Monilinia fructicola</i>
	黒星病	<i>Cladosporium carpophilum</i>
かんきつ	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>
	そうか病	<i>Elsinoe fawcetti</i>
	黒点病	<i>Diaporthe citri</i>

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名	病害名	病原菌名
小麦	紅色雪腐病 雪腐大粒菌核病 雪腐小粒菌核病 "	<i>Fusarium nivale</i> <i>Sclerotinia borealis</i> <i>Typhula incarnata</i> <i>Typhula ishikariensis</i>
ばれいしょ	疫 病 菌 核 病 そうか病 粉状そうか病	<i>Phytophthora infestans</i> <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> <i>Streptomyces scabies</i> <i>Spongospora subterranea</i>
だいず	菌 核 病 灰色かび病	<i>Sclerotinia sclerotiorum</i> <i>Botrytis cinerea</i>
あずき	炭 そ 病 菌 核 病 灰色かび病	<i>Colletotrichum phaseolorum</i> <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> <i>Botrytis cinerea</i>
いんげんまめ	炭 そ 病 菌 核 病 灰色かび病	<i>Colletotrichum lindemuthianum</i> <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> <i>Botrytis cinerea</i>
キャベツ	根 こ ぶ 病	<i>Plasmodiophora brassicae</i>
はくさい	根 こ ぶ 病 根くびれ病	<i>Plasmodiophora brassicae</i> <i>Aphanomyces raphani</i>
だいこん	亀裂褐変症 "	<i>Aphanomyces raphani</i> <i>Rhizoctonia solani</i>
か ぶ	根 こ ぶ 病	<i>Plasmodiophora brassicae</i>
たまねぎ	ボトリティス葉枯病 " " 灰色腐敗病	<i>Botrytis byssoidea</i> <i>Botrytis cinerea</i> <i>Botrytis squamosa</i> <i>Botrytis allii</i>

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名	病害名	病原菌名
茶	輪斑病 炭そ病 もち病	<i>Pestalotia longiseta</i> <i>Gloeosporium theae-sinensis</i> <i>Exobasidium vexans</i>
芝	ブラウンパッチ ラージパッチ	<i>Rhizoctonia solani</i> <i>Rhizoctonia solani</i>

特に本剤は最近問題になっているベンズイミダゾール系やジカルボキシイミド系薬剤に耐性を示す菌類（ベンチュリア属やボトリティス属等）の病害に対しても感受性菌と同様に高い殺菌効果が認められている。

一方、本剤は高い抗菌活性の他に、下表に示す様にミカンハダニの様なハダニ、サビダニ類に対して殺ダニ効果を有することが判明しており、病害と同時にハダニの防除も本剤の副次効果として期待される。

ハダニ名 (和名)	目	科	学名
ミカンハダニ	ダニ目	ハダニ科	<i>Panonychus citri</i>
リンゴハダニ	ダニ目	ハダニ科	<i>Panonychus ulmi</i>
カンザワハダニ	ダニ目	ハダニ科	<i>Tetranychus kanzawai</i>
ナミハダニ	ダニ目	ハダニ科	<i>Tetranychus urticae</i>
ミカンサビダニ	ダニ目	フシダニ科	<i>Aculops pelekassi</i>

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

3.2 作用機構

フルアジナムは植物病原菌の呼吸系における電子の流れと ATP 合成の共役をはずす作用 (酸化のリン酸化の脱共役作用)により、殺菌効果を発揮すると考えられている。一方、SH 基阻害作用も殺菌効果に関与する可能性が示唆されている。本剤の抗菌作用は *in vitro* 条件では、およそ 1 ppm の低濃度で孢子発芽阻害、付着器形成阻害、付着器の侵入阻止、菌糸伸長並びに孢子形成の阻害などの現象として観察されるが、本剤はほとんど浸透移行性がないことにより実用的には孢子発芽、付着器形成阻害、付着器の侵入阻止が主なものであろうと推測される。

一方、ハダニ類に対しては殺成虫活性が認められず、殺卵活性や殺幼虫活性が高いことが判明している。この結果、殺ダニ効果の発現は比較的遅効的である。また、ハダニ類の捕食性天敵であるカブリダニ類に対してはほとんど影響を与えないことが判っている。

3.3 防除上の利点

本剤は広い抗菌スペクトラムを有し、適度に長い残効性を有することから、多種類の病害の同時防除に有効に使用できるほか、薬剤耐性菌に対しても感受性菌と同様に効果を示すことから、他剤との体系防除の中での基幹防除薬剤として有用と考えられる。また、ハダニ類に対しても遅効的ではあるが、殺ダニ効果を有し、天敵に対する影響がないことから、体系防除でのハダニ剤の防除負荷の軽減により、ハダニ剤の散布回数の低減にも寄与するものと期待される。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

4. 適用及び使用上の注意

4.1 50%水和剤 (平成 24 年 2 月 8 日付登録内容)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	7ルジナムを含む農薬の総使用回数
かんきつ	そうか病 灰色かび病 ミカバダニ	1000～ 2000 倍	200～700 L/10a	収穫 30 日前 まで	1 回	散布	2 回以内 (散布は 1 回 以内、土壌灌注 は 1 回以内)
	苗疫病 黒点病 ミカバダニ	1000 倍					
りんご	斑点落葉病 黒星病 輪紋病	1000～ 2000 倍		収穫 45 日前 まで			
	すす点病 すす斑病 褐斑病	2000 倍					
もも	灰星病 黒星病 桿状菌腐敗病	2000 倍		収穫 7 日前 まで			
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病	1000～ 2000 倍		収穫 30 日前 まで			
ぶどう	晩腐病 べと病 枝膨病 灰色かび病 黒とう病	2000 倍		開花直前 ～落弁期 但し、収穫 60 日前まで			
	黒とう病	250 倍		休眠期			
うめ	黒星病	2000 倍		発芽期まで 但し、収穫 60 日前まで			
キウイフルーツ	灰色かび病 果実軟腐病	1000～ 2000 倍		収穫 30 日前 まで			
パイナップル	心腐病	1000 倍	—	植付前	20 分間 苗浸漬	1 回	
小麦	紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病 雪腐大粒菌核病	1000 倍	60～150 L/10a	根雪前	2 回以内	散布	3 回以内 (は種前は 1 回 以内、は種後 は 2 回以内)
	雪腐小粒菌核病	250 倍	25 L/10a				

4.1 50%水和剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	7L/10aを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	疫病 菌核病	1000～ 2000倍	100～300 L/10a	収穫14日前 まで	4回以内	散布	6回以内 (種いも浸漬は 1回以内、 植付前の土壌 混和は1回 以内、散布は 4回以内)
	疫病	500倍 800倍	25 L/10a 40 L/10a				
	夏疫病	2000倍	100～300 L/10a				
	そうか病	100倍	—	植付前	1回	種いも 瞬間浸漬	
やまのいも	葉渋病	2000倍	100～300 L/10a	収穫7日前 まで	4回以内	散布	4回以内
あずき	炭疽病 灰色かび病	1000～ 2000倍		収穫21日前 まで	3回以内		3回以内
	菌核病 輪紋病	1000倍		収穫14日前 まで			
いんげんまめ	炭疽病 灰色かび病	1000～ 2000倍					
	菌核病	1000倍					
ごぼう	黒条病	1000倍	収穫7日前 まで	1回	5分間 苗根部 浸漬		
たまねぎ	灰色腐敗病 べと病 灰色かび病	1000～ 2000倍	25 L/10a				
	灰色かび病	500倍	100～300 L/10a				
	白色疫病	1000倍	—			定植直前	
	乾腐病	50倍	—	—			
らっきょう	灰色かび病	2000倍	100～300 L/10a	収穫14日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	白色疫病	1000倍		収穫終了後 但し、秋期まで			
アスパラガス (露地栽培)	茎枯病 斑点病	1000～ 2000倍		収穫30日前 まで	4回以内	株元散布	5回以内 (は種前の土壌 混和及び苗床 灌注は合計 1回以内、 株元散布は 4回以内)
てんさい	根腐病	1000倍					
	黒根病	100倍	3 L/m ²				
べにばないんげん	灰色かび病	1000倍	100～300 L/10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

4.1 50%水和剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	7/7/7を含む農薬の総使用回数
茶	炭疽病 輪斑病 網もち病 新梢枯死症 (輪斑病菌による) 灰色かび病	2000倍	200~400 L/10a	摘採14日前 まで	1回	散布	1回
食用ゆり	葉枯病	1000~ 2000倍	100~300 L/10a	収穫14日前 まで	5回以内		5回以内
チューリップ	灰色かび病 褐色斑点病	2000~ 4000倍		-	発病初期	7回以内	15分間 球根浸漬
	球根腐敗病 皮腐病	100~200 倍	植付前		1回	球根瞬間 浸漬	
ゆり	鱗茎さび症	2000倍	100~300 L/10a	発病初期	3回以内	散布	3回以内
	葉枯病						

作物名	適用病害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	7/7/7を含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
ばれいしょ	粉状そうか病 塊茎褐色輪紋病	600 g/10a	100 L/10a	植付前	1回	全面散布 土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は 1回以内、 植付前の土壌 混和は1回 以内、散布は 4回以内)
小麦	縞萎縮病			は種前			3回以内 (は種前は1回 以内、は種後 は2回以内)
チューリップ	条斑病 微斑モザイク病			植付前			7回以内

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

4.1 50%水和剤 (適用拡大申請中)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	707J [®] を含む農薬の 総使用回数

使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 本剤は、保護効果主体の薬剤であり、病原菌に感染した後の散布では効果が不十分な場合があるので注意すること。
- (3) かんきつに使用する場合は次の事項に注意すること。
 - 1) レモンには薬害を生ずるので使用を避けること。
 - 2) ネーブル、ハッサク、清見等品種によっては薬害を生ずる場合があるので注意すること。
 - 3) 病害とハダニ類の同時防除に使用する場合、かけ残しのないように丁寧に散布すること。
 - 4) 黒点病に対する防除は、そうか病、灰色かび病との同時防除として使用すること。なお、多発時の黒点病に対しては効果が劣ることがあるので注意すること。
- (4) りんごの褐斑病に対しては、多発時には効果がやや不十分な場合があるので注意すること。
- (5) なしに使用する場合、展葉期の散布は品種により、葉に薬害を生ずるので注意すること。特に幸水、豊水、新水等には薬害を生じやすいので発芽期から落花後 30 日までの間は使用を避けること。
- (6) ぶどうに使用する場合、使用時期を誤ると葉や果実に薬害を生ずるので使用時期を厳守すること。なお、ネオマスカットは特に薬害を生じやすいので使用を避けること。
- (7) 本剤と他剤との混用は、薬害を生じやすいので注意すること。特に、なし、ぶどう、もも及びうめでは十分注意すること。なお、うめについては発芽期までの使用に留めること。
- (8) きゅうり、レタス等には薬害を生ずる恐れがあるので、周辺にそれらの作物がある場合にはかからないように注意して散布すること。
- (9) 全面散布土壌混和で使用する場合、所定量の薬量を均一に散布し、土壌と十分混和すること。降雨直後の処理は混和むらの原因となるので避けること。
- (10) ばれいしょ、たまねぎ及び小麦に対して少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用すること。
- (11) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (12) 本剤の使用に当たっては使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
養殖池周辺での使用は避けること。
- (2) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

4.2 0.5%粉剤 (平成 22 年 3 月 3 日付登録内容)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	7ルジナムを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	そうか病 粉状そうか病	30~40 kg/10a	植付前	1回	全面 土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は 1回以内、植付前の 土壌混和は1回以 内、散布は4回以内)
キャベツ	根こぶ病	15~20 kg/10a	は種又は 定植前	2回以内 (苗床では1回 以内、本圃では 1回以内)	作条 土壌混和	2回以内 (苗床では1回 以内、本圃では 1回以内)
	苗立枯病 (リゾクニア菌) 菌核病	30~40 kg/10a			全面 土壌混和	
カリフラワー ブロッコリー なばな	根こぶ病	15~20 kg/10a	は種又は 定植前	1回	作条 土壌混和	1回
なばな類 (なばな、みずかけなを 除く) メキャベツ かぶ		30~40 kg/10a			全面 土壌混和	
こまつな みずな みふな		30 kg/10a	は種前			
非結球あぶらな科 葉菜類 (ただし、ケール、 こまつな、みずな、 みふな、のさわな を除く)		30~40 kg/10a	は種又は 定植前			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

4.2 0.5%粉剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	7ルジムを含む農薬の総使用回数		
のざわな	根こぶ病	30~40 kg/10a	は種又は定植前	1回	全面 土壌混和	1回		
はくさい		20 kg/10a			作条 土壌混和			
	15~20 kg/10a	全面 土壌混和						
レタス 非結球レタス	根こぶ病 黄化病				30~40 kg/10a		すそ枯病 ビッカバイン病	30 kg/10a
みずかけな	根こぶ病	40 kg/10a						
ねぎ	白絹病 小菌核腐敗病	15 kg/10a	土寄せ時 但し、 収穫 21 日 前まで	2回以内	株元散布	2回以内		
にら	白絹病	20 kg/10a	収穫 30 日 前まで	1回	株元散布	1回		
てんさい	叢根病	育苗培土 1 kg 当り 5~10 g	は種前		土壌混和	5回以内 (は種前の土壌混和 及び苗床灌注は 合計 1回以内、 株元散布は 4回以内)		
らっかせい	白絹病	20 kg/10a	収穫 45 日 前まで		株元散布	1回		
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌 による)	30~40 kg/10a	は種前	全面 土壌混和				

使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- (2) 本剤を使用する場合、砕土をよく行った後所定量の薬剤を均一に散布し、土壌と十分混和すること。なお、降雨直後の処理は混和むらの原因となるので避けること。
- (3) 根こぶ病を対象に本剤を多量に使用すると、初期生育が抑制される場合があるので、適用薬量の範囲で使用すること。
- (4) はくさいの黄化病、ばれいしょのそうか病、粉状そうか病、キャベツの苗立枯病(リゾクトニア菌)、菌核病、レタスのビッグベイン病に対する本剤の全面土壌混和及びねぎの小菌核腐敗病に対する土寄せ時株元散布は、多発生条件では効果が劣る場合があるので注意すること。
- (5) レタスの茎葉に本剤が多量にかかると薬害を生じる恐れがあるので、付近にある場合は注意して散布すること。
- (6) てんさいに使用する場合、誤って多量に処理すると初期生育が抑制される恐れがあるので適用薬量の範囲を厳守すること。
- (7) みずかけなで使用する場合、水掛け開始は薬剤処理後2ヶ月以降を厳守すること。
- (8) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (9) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (10) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

水産動植物(魚類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

4.3 39.5%SC 剤 (平成 24 年 9 月 12 日付登録内容)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フルジナムを 含む農薬の 総使用回数
かんきつ	そうか病 灰色かび病	2000～ 2500倍		収穫30日 前まで	1回		1回
	黒点病 ミカンダニ ミカンヒダニ チャノコリダニ	2000倍					
りんご	斑点落葉病 黒星病 すす点病 すす斑病 褐斑病	2000～ 2500倍	200～700 L/10a	収穫45日 前まで	1回	散布	2回以内 (散布は1回 以内、土壌灌 注は1回以内)
	輪紋病 モリア病	2000倍					
	白紋羽病 紫紋羽病	500倍 1000倍	50～100 L/樹 100～200 L/樹	1回	土壌灌注		
りんご (苗木)	白紋羽病 紫紋羽病	500倍	—	植付時	1回	20分間 苗木浸漬	2回以内 (苗木浸漬は 1回以内、 土壌灌注は 1回以内)
			25～50 L/樹	植付後 但し、収 穫開始1 年前まで	1回	土壌灌注	
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病	2000～ 2500倍 2000倍	200～700 L/10a	収穫30日 前まで	1回	散布	2回以内 (散布は1回 以内、土壌灌 注は1回以内)
		500倍	50～100 L/樹		1回	土壌灌注	
		1000倍	100～200 L/樹				
ネクタリン	白紋羽病	500倍	50～100 L/樹	収穫30日 前まで	1回	土壌灌注	1回
		1000倍	100～200 L/樹				
もも	灰星病 モロシ腐敗病	2000倍	200～700 L/10a	収穫7日 前まで	1回	散布	2回以内 (散布は1回 以内、土壌灌 注は1回以内)
	白紋羽病	500倍	50～100 L/樹	収穫30日 前まで	1回	土壌灌注	
		1000倍	100～200 L/樹				

4.3 39.5%SC 剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	7L/10aを 含む農薬の 総使用回数
うめ	黒星病 灰色かび病	2000倍	200~700 L/10a	発芽期 まで 但し、収穫 60日前 まで	1回	散布	2回以内 (散布は1回以 内、土壌灌注 は1回以内)
	小粒核果類 (うめを除く)	白紋羽病	500倍	50~100 L/樹	収穫後から 開花前まで 但し、収穫 60日前 まで	1回	
ぶどう	晩腐病 黒とう病 べと病 灰色かび病 枝膨病	2000倍	200~700 L/10a	開花直前~ 落弁期 但し、収穫 60日前 まで	1回	散布	2回以内 (散布は1回以 内、土壌灌注 は1回以内)
	白紋羽病	500倍	50~100 L/樹	収穫21日前 まで	1回	土壌灌注	
		1000倍	100~200 L/樹				
びわ	灰斑病	2000倍	200~700 L/10a	収穫7日前 まで	1回	散布	2回以内 (散布は1回以 内、土壌灌注 は1回以内)
	白紋羽病	500倍	50~100 L/樹	収穫後から 開花前まで	1回	土壌灌注	
		1000倍	100~200 L/樹				
柿(フルーツ)	灰色かび病 果実軟腐病	2000倍	200~700 L/10a	収穫30日前 まで	1回	散布	1回
かき	落葉病、炭疽病 灰色かび病			収穫45日前 まで			
おうとう いちじく	白紋羽病	500倍	50~100 L/樹	収穫30日前 まで	1回	土壌灌注	
ブルーベリー				収穫21日前 まで			
ばれいしょ	疫病	500倍	25 L/10a	収穫7日前 まで	4回以内	散布	6回以内 (種いも浸漬 は1回以内、 植付前の土壌 混和は1回以 内、散布は 4回以内)
		1000~ 2000倍	100~300 L/10a				
	夏疫病	2000倍					
	そうか病	100倍	—	植付前	1回	種いも 瞬間浸漬	
たまねぎ	灰色腐敗病 べと病 灰色かび病	1000~ 2000倍	100~300 L/10a	収穫3日前 まで	5回以内	散布	6回以内 (苗根部浸漬 は1回以内、散 布は5回以内)
	灰色かび病	500倍	25 L/10a				
やまのいも	葉渋病	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前 まで	4回以内	散布	4回以内

4.3 39.5%SC 剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	7ルジナムを 含む農薬の 総使用回数
てんさい	根腐病	1000～ 2000倍	100～300 L/10a	収穫30日 前まで	4回以内	株元散布	5回以内 (は種前の土壌 混和及び苗床 灌注は合計 1回以内、 株元散布は 4回以内)
	黒根病	1000倍					
		100倍	3 L/m ²	移植前	1回	苗床土壌灌注	
いちご	炭疽病	1000倍	50 mL/株	育苗期	1回	灌注	1回
小麦	紅色雪腐病 雪腐大粒菌核病	1000倍	60～150 L/10a	根雪前	2回以内	散布	3回以内 (は種前は 1回以内、は種 後は2回以内)
	雪腐小粒菌核病	1000～ 2000倍					
		250倍	25 L/10a				
茶	炭疽病、輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌による) もち病、網もち病 灰色かび病 褐色円星病 チャノホリダニ	2000倍	200～400 L/10a	摘採14日 前まで	1回	散布	1回
ゆり	茎腐症 (リゾーパス菌による)	500倍	3L/m ²	定植後	2回以内	土壌灌注	3回以内
あずき	炭疽病	1000～ 2000倍	100～300 L/10a	収穫21日 前まで	3回以内	散布	3回以内
	菌核病	1000倍					
	灰色かび病	1000～ 2000倍					
いんげんまめ	炭疽病	1000～ 2000倍	100～300 L/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散布	3回以内
	灰色かび病	1000～ 2000倍					
	菌核病	1000倍					

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

4.3 39.5%SC 剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	7ルジナムを含む農薬の総使用回数	
		薬量	希釈水量					
はくさい	根こぶ病	500 mL/10a	100~150 L/10a	定植前	1回	全面散布 土壌混和	1回	
キャベツ				は種又は 定植前	2回以内 (苗床では 1回以内、 本圃では 1回以内)		2回以内 (苗床では 1回以内、 本圃では 1回以内)	
ブロッコリー				定植前	1回		1回	1回
カリフラワー								
レタス 非結球レタス	すそ枯病	600 mL/10a	100 L/10a	植付前	1回	全面散布 土壌混和	6回以内 (種いも浸漬 は1回以内、 植付前の 土壌混和は 1回以内、 散布は 4回以内)	
ばれいしょ	粉状そうか病							
チューリップ	微斑モザイク病 条斑病	500 mL/10a	100 L/10a	植付前	1回	全面散布 土壌混和	7回以内	

使用上の注意事項

- (1) 使用直前に容器をよく振ること。
- (2) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (3) 本剤は、保護効果主体の薬剤であり、病原菌に感染した後の散布では効果が不十分な場合があるので散布時期に注意すること。
- (4) かんきつに使用する場合は、次の事項に注意すること。
 - 1) レモンには薬害を生じるので使用を避けること。
 - 2) 病害とミカンハダニの同時防除に使用する場合は、かけ残しのないように丁寧に散布すること。
- (5) なしに使用する場合は、次の事項に注意すること。
 - 1) 幸水等の赤なしの幼木や樹勢の劣る樹では、新葉に薬害が発生するおそれがあるので注意すること。
- (6) ぶどうに使用する場合は、葉や果実に薬害が発生するおそれがあるので、使用時期を厳守すること。なお、ネオマスカットは特に薬害を生じやすいので使用を避けること。
- (7) いちごに使用する場合は、新葉に薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- (8) 本剤と他剤との混用は、薬害を生じやすいので注意すること。特に、なし、ぶどう、もも及びうめでは十分注意すること。なお、うめについては発芽期までの使用に留めること。
- (9) きゅうり、レタス等には薬害を生じるおそれがあるので、周辺にそれらの作物がある場合にはかからないように注意して散布すること。
- (10) 白紋羽病、紫紋羽病対象に本剤を使用する場合は、樹幹から半径1 m程度の範囲を掘り上げて根部を露出させ、病根を除去した後所定濃度の薬液を灌注し埋め戻すか、半径1 m程度の範囲に土壤灌注器を用いて所定量の薬液を灌注すること。但し土壤灌注器による灌注は予防的使用か軽症樹に限って行うこと。
- (11) 白紋羽病、紫紋羽病対象に苗木に使用する場合は、植付時に所定量の薬液を灌注しながら掘り上げた土を埋め戻すか、植付後に土壤灌注器を用いて所定量を注入すること。
- (12) 土壤灌注処理をする場合は、樹の大きさにより灌注水量を調節すること。また、灌注水量を厳守し、灌注水量が100 L以上必要な場合は1000倍で使用する。
- (13) 全面散布土壤混和で使用する場合は、所定量の薬量を均一に散布し、土壤と十分混和すること。降雨直後の処理は、混和むらの原因となるので避けること。
- (14) 根こぶ病対象に本剤を多量に使用すると初期生育が抑制される場合があるので適用薬量の範囲で使用すること。
- (15) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (16) 小麦、ばれいしょ、たまねぎに対して少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用すること。
- (17) 本剤の使用に当たっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (18) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
養殖池周辺での使用は避けること。
- (2) 水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

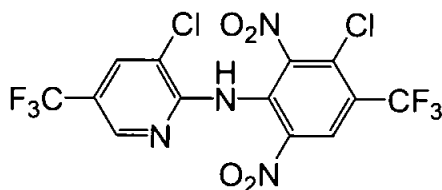
5. 農薬残留量

5.1 作物残留

(1) 分析対象の化学名

・フルアジナム

化学名：3-chloro-*N*-(3-chloro-5-trifluoromethyl-2-pyridyl)- α, α, α -trifluoro-2,6-dinitro-*p*-toluidine



分子量：465.1

(2) 分析法の要旨

・フルアジナム

試料を酢酸-メタノールで抽出する。濾過したのち濾液を *n*-ヘキサンで抽出し、次いでアルカリ転溶する。水層を酸性にし、再度 *n*-ヘキサンで抽出したのち、フロリジルカラムクロマトグラフィーで精製し、ガスクロマトグラフ (ECD) で定量する。

(3) 残留試験結果

次頁以降に示す。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
小麦 (露地) (種子) 昭和62年	水和剤(50%) 1000倍・100L/10a 散布	北海道 上川	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	58	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		北海道 北見	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	64	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
あずき (露地) (乾燥子実) 昭和63年	水和剤(50%) 1000倍・100L/10a 散布	北海道 中央	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	0.02	0.02
			3	21	<0.01	<0.01	0.01	0.01
		北海道 十勝	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.09	0.08	0.12	0.10
			3	21	0.02	0.02	0.01	0.01
いんげんまめ (露地) (乾燥子実) 昭和61年	水和剤(50%) 1000倍・100L/10a 散布	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		福岡農試 豊前	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
さやいんげん (露地) (さや) 昭和61年	水和剤(50%) 1000倍・100L/10a 散布	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		福岡農試 豊前	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
らっかせい (露地) (乾燥子実) 平成15年	粉剤(0.5%) 20kg/10a 株元処理	千葉農業 総研	0	-	<0.01	<0.01	-	-
			1	41	<0.01	<0.01	-	-
			1	63	<0.01	<0.01	-	-
			1	75	<0.01	<0.01	-	-
らっかせい (露地) (乾燥子実) 平成16年	粉剤(0.5%) 20kg/10a 株元処理	千葉農業 総研	0	-	<0.01	<0.01	-	-
			1	45	<0.01	<0.01	-	-
			1	61	<0.01	<0.01	-	-
			1	75	<0.01	<0.01	-	-
ばれいしょ (露地)(塊茎) 昭和62年	水和剤(50%) 1000倍・300L/10a 散布	長野植防研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ばれいしょ (露地)(塊茎) 昭和63年	水和剤(50%) 1000倍・300L/10a 散布	長崎農試 愛野	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成3年	水和剤(50%) 50倍希釈液 種芋吹付け ¹⁾ 種芋瞬間浸漬 ²⁾	日植防研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1 ¹⁾	92	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		日植防 宮崎	2 ²⁾	92	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1 ¹⁾	84	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2 ²⁾	84	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果						
					公的分析機関		社内分析機関				
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)			
ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成 10 年	水和剤(50%) 333 倍・200L/10a 全面土壌混和	北海道 中央農試	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01			
			1	126	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01			
		日植防研	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01			
			1	86	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01			
ばれいしょ (露地) (塊茎) 昭和 63 年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和 ¹⁾ 0.5%種芋湿粉衣 ²⁾	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			1 ¹⁾	97	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
		長野農試 愛野	1 ²⁾	97	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			1 ¹⁾	78	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			1 ²⁾	78	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
やまのいも (露地) (塊根) 平成 7 年	水和剤(50%) 2000 倍・300L/10a 散布	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			4	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
		鳥取植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			4	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
てんさい (露地) (根部) 平成 4 年	粉剤(0.5%) 10g/床土 1kg 育苗床土壌混和	北海道 北見	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			1	185	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
		北海道 植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			1	192	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
てんさい (露地) (葉部) 平成 4 年	粉剤(0.5%) 10g/床土 1kg 育苗床土壌混和	北海道 北見	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			1	185	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
		北海道 植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			1	192	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
てんさい (露地) (根部) 平成 9 年	粉剤(0.5%) 10g/床土 1kg 育苗床土壌 混和处理 1 回 水和剤(50%) 1000 倍・200L/10a 株元散布 4 回	北海道植防 音更	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			5	30	0.05	0.05	0.05	0.04			
		北海道植防 札幌	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			5	30	0.10	0.10	0.13	0.12			
			てんさい (露地) (根部) 平成 11 年	水和剤(50%) 1000 倍・200L/10a 株元散布	北海道植防 音更	0	-	-	-	<0.01	<0.01
						4	7	-	-	0.23	0.22
4	14	-				-	0.37	0.34			
4	28	-				-	0.15	0.15			
北海道植防 札幌	4	42			-	-	0.14	0.14			
	0	-			-	-	<0.01	<0.01			
	4	7	-	-	0.06	0.06					
	4	14	-	-	0.14	0.13					
4	28	-	-	0.16	0.14						
4	42	-	-	0.04	0.04						

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
てんさい (露地) (根部) 平成 13 年	水和剤(50%) 100 倍・3L/m ² 苗床灌注 1 回 1000 倍・200L/10a 株元散布 4 回	北海道植防 札幌	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	21	0.04	0.04	0.06	0.06
			5	30	0.06	0.06	0.05	0.04
		北海道植防 音更	5	45	0.02	0.02	0.05	0.04
			0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	21	0.09	0.09	0.04	0.04
			5	30	0.10	0.10	0.11	0.10
5	45	0.02	0.02	0.04	0.04			
かぶ (露地) (根部) 昭和 62 年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	46	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		鳥取園芸	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	75	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
かぶ (露地) (葉部) 昭和 62 年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	46	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		鳥取園芸	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	75	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
はくさい (露地) (茎葉) 平成 13 年	SC 剤(50%w/v) 200 倍・100L/10a 全面散布後 土壌混和	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	71	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		群馬園芸	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	48	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
はくさい (露地) (茎葉) 昭和 62 年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	茨城園芸	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	95	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		奈良植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	84	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
キャベツ (露地) (葉球) 平成 13 年	SC 剤(50%w/v) 300 倍・150L/10a 全面散布後 土壌混和	岩手植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	69	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
	群馬園芸	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
		1	85	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
キャベツ (露地) (葉球) 平成 15 年	SC 剤(50%w/v) 400 倍・200L/10a 全面散布後土壌混和	岩手植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	60	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	67	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	74	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		岐阜植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	62	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	69	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	76	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
キャベツ (露地) (葉球) 昭和 62 年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	48	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		滋賀短大	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	64	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
メキャベツ (露地) (芽球) 平成6年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	山形園試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	93	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		長野野菜試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	147	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
カリフラワー (露地) (花蕾) 平成2年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	43	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		長野農試 中信	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	48	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成2年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	41	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		日植防宮崎	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	65	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
なばな (露地) (茎葉) 平成2年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	千葉園試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	75	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		三重農技 センター	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	60	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
のざわな (露地) (茎葉) 平成2年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	長野植防 須坂	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	63	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		徳島農試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	97	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
みずかけな (露地) (茎葉) 平成7年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	静岡防除所 御殿場	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	147	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		静岡防除所 駿東	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	152	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
ちんげんさい (露地) (茎葉) 平成6年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	埼玉園試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	26	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		静岡農試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	44	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
たかな (露地)(茎葉) 平成4年	粉剤(0.5%) 30kg/10a 全面土壌混和	山形園試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	67	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	74	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
たかな (露地)(茎葉) 平成5年	粉剤(0.5%) 30kg/10a 全面土壌混和	山形園試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	67	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	74	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和		0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	67	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
1	74	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
ひろしまな (露地) (茎葉) 平成14年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	広島農技 センター	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	33	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	40	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	48	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
山形みどりな (露地) (茎葉) 平成 14 年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	山形園試	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			1	21	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			1	35	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			1	49	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
		山形農研 研修センター	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			1	21	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			1	35	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			1	49	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
ごぼう (露地) (根部) 平成 11 年	水和剤(50%) 1000 倍・300L/10a 茎葉散布	北海道植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			3	7	0.02	0.02	0.03	0.03
			3	14	0.01	0.01	0.02	0.02
			3	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			3	7	< 0.01	< 0.01	0.02	0.02
			3	14	0.01	0.01	0.02	0.02
			3	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
レタス (露地) (茎葉) 平成 7 年	粉剤(0.5%) 30kg/10a 全面土壌混和	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	42	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		日植防 宮崎	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	49	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
たまねぎ (露地) (鱗茎) 昭和 62 年	水和剤(50%) 1000 倍・200L/10a 散布	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		兵庫淡路 農技センター	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
たまねぎ (露地) (鱗茎) 平成 3 年	水和剤(50%) 50 倍希釈液 5 分間鱗茎根部 苗浸漬	北海道 中央農試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	119	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		長野植防 松代	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	236	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
ねぎ(根深) (露地) (根深) 平成 3 年	粉剤(0.5%) 15kg/10a 株元処理	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		千葉農試 北総	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
ねぎ(葉) (露地)(葉茎) 平成 3 年	粉剤(0.5%) 15kg/10a 株元処理	滋賀植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	21	< 0.01	< 0.01	0.01	0.01
ねぎ(葉) (露地)(葉茎) 平成 4 年	粉剤(0.5%) 15kg/10a 株元処理	長野植防	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			2	21	-	-	0.01	0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
アスパラガス (露地) (若莖) 平成3年	水和剤(50%) 1000倍・400L/10a 散布	岩手園試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	293	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		長野植防 須坂	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	247	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
らっきょう (露地) (鱗莖) 平成6年	水和剤(50%) 1000倍・200L/10a 散布	福井植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	7	< 0.01	< 0.01	0.02	0.02
			5	14	< 0.01	< 0.01	0.01	0.01
		鳥取園試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	7	0.01	0.01	0.08	0.08
			5	14	0.01	0.01	0.04	0.04
らっきょう (露地) (鱗莖) 平成7年	水和剤(50%) 1000倍・200L/10a 散布	千葉農試 北総	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			5	14	-	-	0.01	0.01
		石川 砂丘農試	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			5	14	-	-	< 0.01	< 0.01
		徳島植防	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			5	14	-	-	0.01	0.01
		鹿児島農試	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			5	14	-	-	0.01	0.01
にら (露地) (莖葉) 平成6年	粉剤(0.5%) 20kg/10a 株元処理	福島植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	30	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		群馬病 防除所	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	30	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
温州みかん (施設) (果肉) 昭和62年	水和剤(50%) 1000倍・400L/10a 散布	愛知園 試蒲郡	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	30	< 0.01	< 0.01	0.06	0.05
			2	60	< 0.01	< 0.01	0.04	0.04
		鹿児島 果試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	30	< 0.01	< 0.01	0.11	0.09
			2	60	< 0.01	< 0.01	0.03	0.02
温州みかん (施設) (果皮) 昭和62年	水和剤(50%) 1000倍・400L/10a 散布	愛知園 試蒲郡	0	-	0.02	0.02	< 0.01	< 0.01
			2	30	2.09	2.06	3.35	3.28
			2	60	0.80	0.78	0.79	0.74
		鹿児島 果試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	30	2.33	2.26	3.24	3.12
			2	60	1.12	1.10	0.90	0.78
温州みかん (施設) (果肉) 平成4年	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	静岡柑試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	30	0.11	0.11	0.09	0.08
		香川農試 府中	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	30	0.03	0.03	0.08	0.08
温州みかん (施設) (果肉) 平成3年	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	静岡柑試	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			2	31	-	-	0.02	0.02
		香川農試 府中	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			2	30	-	-	0.02	0.02
温州みかん (施設) (果皮) 平成3年	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	静岡柑試	0	-	-	-	0.01	0.01
			2	31	-	-	4.52	4.37
		香川農試 府中	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			2	30	-	-	1.64	1.52

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
温州みかん (施設) (果皮) 平成3年	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	静岡柑試	0	-	-	-	0.01	0.01
			2	31	-	-	4.52	4.37
		香川農試 府中	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			2	30	-	-	1.64	1.52
夏みかん (露地) (全体) 昭和63年	水和剤(50%) 1000倍・500L/10a 散布	神奈川 園試根 府川	0	-	< 0.03	< 0.03	0.08	0.07
			2	30	0.97	0.96	1.04	0.91
			2	60	0.39	0.38	0.62	0.56
	水和剤(50%) 1000倍・400L/10a 散布	徳島果 試県北	0	-	0.04	0.04	0.06	0.05
			2	30	0.31	0.29	0.16	0.15
			2	60	0.13	0.13	0.14	0.12
夏みかん (露地) (果肉) 昭和63年	水和剤(50%) 1000倍・500L/10a 散布	神奈川 園試根 府川	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	30	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	60	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
	水和剤(50%) 1000倍・400L/10a 散布	徳島果 試県北	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	30	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	60	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
夏みかん (露地) (果皮) 昭和63年	水和剤(50%) 1000倍・500L/10a 散布	神奈川 園試根 府川	0	-	< 0.02	< 0.02	0.07	0.06
			2	30	3.06	3.02	3.14	2.74
			2	60	1.22	1.18	1.86	1.68
	水和剤(50%) 1000倍・400L/10a 散布	徳島果 試県北	0	-	0.03	0.03	0.05	0.04
			2	30	1.02	0.97	0.46	0.44
			2	60	0.40	0.39	0.39	0.34
夏みかん (露地) (全体) 平成5年	SC剤(50%w/v) 2000倍・600L/10a 散布	三重農技 センター	0	-	0.05	0.05	0.03	0.03
			2	30	1.12	1.09	1.35	1.34
	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	大分植防	0	-	0.11	0.11	0.06	0.05
			2	29	1.73	1.71	1.16	1.11
夏みかん (露地) (果肉) 平成5年	SC剤(50%w/v) 2000倍・600L/10a 散布	三重農技 センター	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	30	< 0.01	< 0.01	0.27	0.25
	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	大分植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	29	< 0.01	< 0.01	0.15	0.14
夏みかん (露地) (果皮) 平成5年	SC剤(50%w/v) 2000倍・600L/10a 散布	三重農技 センター-南紀	0	-	0.04	0.04	0.02	0.02
			2	30	3.75	3.62	4.59	4.59
	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	大分植防	0	-	0.10	0.10	0.05	0.04
			2	29	6.81	6.73	4.17	4.00
りんご (露地、無袋) (果実) 昭和61年	水和剤(50%w/v) 1000倍・500L/10a 散布	長野植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	21	0.39	0.38	0.20	0.20
			5	30	0.27	0.26	0.15	0.12
			5	45	0.15	0.15	0.17	0.15
りんご (露地、無袋) (果実) 昭和62年	水和剤(50%) 1000倍・500L/10a 散布	岩手園試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	21	0.56	0.54	0.84	0.82
			5	28	0.60	0.58	0.32	0.29
			5	43	0.27	0.26	0.28	0.26

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
りんご (露地、無袋) (果実) 昭和 63 年	水和剤(50%) 1000 倍・500L/10a 散布	青森 りんご試	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			5	21	0.29	0.28	-	-
			5	30	0.35	0.34	-	-
			5	45	0.25	0.25	-	-
		岩手園試	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			5	21	0.12	0.11	-	-
			5	30	0.02	0.02	-	-
			5	45	0.03	0.03	-	-
		長野植防	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			5	21	0.23	0.22	-	-
			5	30	0.15	0.14	-	-
			5	45	0.04	0.04	-	-
		石川植防	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			5	21	0.06	0.06	-	-
			5	31	0.04	0.03	-	-
5	45		0.05	0.04	-	-		
りんご (露地、無袋) (果実) 平成 4 年	SC 剤(50%w/v) 2000 倍・500L/10a 散布	長野植防 南 信	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	45	0.03	0.03	0.01	0.01
		石川植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	45	0.07	0.07	0.04	0.04
りんご (露地、無袋) (果実) 平成 4 年	SC 剤(50%w/v) 2000 倍・500L/10a 散布	岩手園試	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			5	45	-	-	0.04	0.04
		長野果試	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			5	45	-	-	0.03	0.02
りんご (露地、無袋) (果実) 平成 3 年	SC 剤(50%w/v) 2000 倍・500L/10a 散布	長野植防 南 信	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			5	30	-	-	0.57	0.54
			5	45	-	-	0.27	0.26
		富山農技 センター	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			5	30	-	-	0.44	0.42
			5	45	-	-	0.20	0.20
りんご (露地、無袋) (果実) 平成 10 年	SC 剤(50%w/v) 500 倍・ 100L/樹 土壌灌注	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		石川植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
りんご (露地、無袋) (果実) 平成 10 年	SC 剤(50%w/v) 500 倍・ 100L/樹 土壌灌注	長野果試	0	-	-	-	<0.01	<0.01
			1	165	-	-	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果					
					公的分析機関		社内分析機関			
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)		
りんご (露地、無袋) (果実) 平成 14 年	SC 剤(50%w/v) 500 倍・ 100L/樹 土壌灌注	岩手植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
			2	45	0.05	0.05	0.02	0.02		
			2	52	0.02	0.02	0.02	0.02		
			2	59	0.01	0.01	0.01	0.01		
	2000 倍・500L/10a 散布 1 回	福島植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
			2	45	0.03	0.02	0.03	0.02		
			2	52	0.02	0.02	0.02	0.02		
			2	59	< 0.01	< 0.01	0.01	0.01		
日本なし (露地、無袋) (果実) 昭和 62 年	水和剤(50%) 1000 倍・400L/10a 散布	岩手園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			5	14	1.54	1.52	1.14	1.06		
			5	21	0.94	0.92	1.01	0.92		
			5	30	0.21	0.20	0.19	0.18		
		鳥取果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			5	14	0.77	0.77	1.25	1.15		
			5	21	0.59	0.58	0.92	0.86		
			5	30	0.16	0.16	0.21	0.20		
	5	45	0.07	0.07	0.16	0.15				
			水和剤(50%) 1000 倍・400L/10a 散布	岩手園試	0	-	<0.01	<0.01	-	-
					5	14	0.54	0.54	-	-
					5	21	0.50	0.48	-	-
5	30	0.11			0.11	-	-			
5	45	0.04		0.04	-	-				
		福島植防		0	-	<0.01	<0.01	-	-	
				5	14	0.68	0.67	-	-	
				5	21	0.59	0.58	-	-	
5	30		0.10	0.10	-	-				
5	45	0.07	0.07	-	-					
		鯉渕学園	0	-	<0.01	<0.01	-	-		
			5	14	0.51	0.49	-	-		
			5	21	0.24	0.24	-	-		
5	30		0.14	0.13	-	-				
5	44	0.03	0.03	-	-					
		長野植防	0	-	<0.01	<0.01	-	-		
			5	14	0.18	0.18	-	-		
			5	21	0.07	0.07	-	-		
5	30		0.04	0.04	-	-				
5	40	0.02	0.02	-	-					
		福井農試	0	-	<0.01	<0.01	-	-		
			5	14	0.83	0.81	-	-		
			5	21	0.54	0.54	-	-		
5	29		0.25	0.24	-	-				
5	44	0.16	0.14	-	-					

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
日本なし (露地、無袋) (果実) 平成4年	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	鯉淵学園	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	30	0.04	0.04	0.03	0.03
		長野植防 南信	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	30	0.10	0.10	0.09	0.09
日本なし (露地、無袋) (果実) 平成4年	SC剤(50%w/v) 2000倍・600L/10a 散布	秋田果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	21	0.19	0.18	0.10	0.09
			3	30	0.13	0.12	0.12	0.12
		新潟園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	21	0.46	0.45	0.17	0.17
			3	30	0.31	0.30	0.25	0.25
日本なし (露地、無袋) (果実) 平成4年	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	福島植防	0	-	-	-	<0.01	<0.01
			5	30	-	-	0.10	0.08
		大分農技	0	-	-	-	<0.01	<0.01
			5	30	-	-	0.15	0.14
日本なし (露地、無袋) (果実) 平成3年	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	長野植防 南信	0	-	-	-	<0.01	<0.01
			5	29	-	-	0.04	0.03
		鳥取植防	0	-	-	-	<0.01	<0.01
			5	30	-	-	0.15	0.14
日本なし (露地、無袋) (果実) 平成7年	SC剤(50%w/v) 500倍・ 100L/樹 土壌灌注	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		千葉農試 果研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
日本なし (露地、無袋) (果実) 平成14年	SC剤(50%w/v) 500倍・ 100L/樹 土壌灌注1回 2000倍・400L/10a 散布1回	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	30	0.03	0.03	0.01	0.01
			2	37	<0.01	<0.01	0.01	0.01
			2	44	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		長野植防 南信	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	30	0.01	0.01	0.02	0.02
			2	37	0.02	0.02	0.02	0.02
			2	44	<0.01	<0.01	0.01	0.01
びわ (施設、有袋) (果実) 平成9年	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	長崎果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		鹿児島 果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
びわ (施設、有袋) (果実) 平成12年	SC剤(50%w/v) 500倍・100L/樹 土壌灌注	鹿児島 果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
びわ (施設、有袋) (果実) 平成11年	SC剤(50%w/v) 500倍・100L/樹 土壌灌注	長崎果試	0	-	< 0.002	< 0.002	< 0.01	< 0.01
			1	30	< 0.002	< 0.002	< 0.01	< 0.01
			1	45	< 0.002	< 0.002	< 0.01	< 0.01
もも (露地、無袋) (果肉) 昭和61年	水和剤(50%) 1000倍・400L/10a 散布	長野植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			4	7	0.02	0.02	0.03	0.02
			4	14	< 0.01	< 0.01	0.02	0.02
			4	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		福岡農試 豊前	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			4	7	0.02	0.02	0.05	0.04
			4	14	< 0.01	< 0.01	0.01	0.01
			4	24	0.01	0.01	0.01	0.01
もも (露地、無袋) (果皮) 昭和61年	水和剤(50%) 1000倍・400L/10a 散布	長野植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	0.01	0.01
			4	7	12.5	12.0	6.75	6.14
			4	14	6.01	5.93	21.7	21.0
			4	21	1.82	1.80	1.08	1.03
		福岡農試 豊前	0	-	0.02	0.02	0.04	0.04
			4	7	36.9	36.5	25.0	23.6
			4	14	45.2	44.4	31.7	30.6
			4	24	18.7	18.4	11.1	10.7
もも (露地、無袋) (果肉) 平成4年	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	長野植防 南信	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			4	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		福岡農試 豊前	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			4	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
もも (露地、無袋) (果皮) 平成4年	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	長野植防 南信	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			4	7	0.08	0.08	0.07	0.06
		福岡農試 豊前	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			4	7	3.09	3.04	7.45	7.38
もも (露地、無袋) (果肉) 平成3年	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	長野植防 南信	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			4	7	-	-	< 0.01	< 0.01
		福岡農試 豊前	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			4	7	-	-	0.01	0.01
もも (露地、無袋) (果皮) 平成3年	SC剤(50%w/v) 2000倍・400L/10a 散布	長野植防 南信	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			4	7	-	-	0.03	0.03
		福岡農試 豊前	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			4	7	-	-	4.24	4.12

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
うめ (露地、無袋) (果実) 平成5年	水和剤(50%) 2000倍・500L/10a 散布	群馬園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	0.13	0.13	0.10	0.10
			1	60	0.01	0.01	<0.01	<0.01
		和歌山 果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	0.10	0.10	0.14	0.14
			1	60	0.03	0.03	0.03	0.03
うめ (露地、無袋) (果実) 平成8年	SC剤(50%w/v) 2000倍・500L/10a 散布	群馬植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	0.07	0.07	0.08	0.07
			1	60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		和歌山 果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	0.22	0.22	0.16	0.16
			1	60	0.02	0.02	<0.01	<0.01
うめ (露地、無袋) (果実) 平成12年	SC剤(50%w/v) 500倍希釈液 100L/樹 土壌灌注	福井園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	59	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	89	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		和歌山 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	90	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
おうとう (施設) (果実) 平成13年	SC剤(50%w/v) 500倍・ 100L/樹 土壌灌注	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ぶどう・小粒 (施設、無袋) (果実) 昭和61年	水和剤(50%) 2000倍・200L/10a 散布	奈良農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	30	0.86	0.86	0.51	0.48
			3	45	0.40	0.40	0.24	0.22
			3	60	0.02	0.02	0.03	0.02
		島根農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	30	0.72	0.71	0.58	0.54
			3	45	0.39	0.38	0.34	0.32
			3	60	0.04	0.04	0.02	0.02
			3	60	0.04	0.04	0.02	0.02
ぶどう・小粒 (施設、無袋) (果実) 平成2年	水和剤(50%) 100倍・200L/10a 休眠期樹幹散布	秋田果試 天王	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	141	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		山梨果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	125	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ぶどう・小粒 (施設、無袋) (果実) 平成4年	SC剤(50%w/v) 2000倍・200L/10a 散布	大阪農技	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	60	0.02	0.02	0.05	0.04
		奈良農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	59	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	59	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果				
					公的分析機関		社内分析機関		
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	
ぶどう・小粒 (施設、無袋) (果実) 平成3年	SC剤(50%w/v) 2000倍・150L/10a 散布	奈良植防	0	-	-	-	<0.01	<0.01	
			3	61	-	-	0.01	0.01	
		大阪農技	0	-	-	-	<0.01	<0.01	
			3	60	-	-	0.02	0.02	
ぶどう・大粒 (施設、無袋) (果実) 平成4年	SC剤(50%w/v) 1000倍・200L/10a 散布	長野植防 須坂	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	60	0.09	0.09	0.13	0.12	
		岡山農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
ぶどう 小粒 ¹⁾ 大粒 ²⁾ (施設、無袋) (果実) 平成8年	SC剤(50%w/v) 500倍希釈液 150L/樹 土壌灌注	山形 ¹⁾ 砂丘農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			1	143	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		岡山農試 ²⁾	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			1	166	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
ぶどう 小粒 ¹⁾ 大粒 ²⁾ (施設、無袋) (果実) 平成13年	SC剤(50%w/v) 2000倍・500L/10a 散布1回 500倍・100L/樹 土壌灌注1回	秋田果試 ¹⁾	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	21	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
			2	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	岡山農試 ²⁾	SC剤(50%w/v) 2000倍・300L/10a 散布1回 500倍・100L/樹 土壌灌注1回	岡山農試 ²⁾	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				2	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				2	35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
かき (露地、無袋) (果実) 平成6年	SC剤(50%w/v) 2000倍・500L/10a 散布	岐阜植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	45	0.03	0.03	0.01	0.01	
			3	59	0.07	0.07	0.03	0.03	
		和歌山 果試紀北	和歌山 果試紀北	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	45	0.03	0.03	0.10	0.10
				3	60	0.05	0.05	0.07	0.06
キウイフルーツ (露地、無袋) (果肉) 昭和63年	水和剤(50%) 1000倍・300L/10a 散布	静岡柑試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	30	0.01	0.01	0.01	0.01	
			4	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		長崎果試	長崎果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				4	29	0.01	0.01	0.01	0.01
				4	44	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
キウイフルーツ (露地・無袋) (果肉) 平成4年	SC剤(50%w/v) 2000倍・300L/10a 散布	静岡柑試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	31	0.04	0.04	0.03	0.03	
		佐賀果試	佐賀果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				4	32	0.06	0.05	0.08	0.07
パイナップル (露地・無袋) (果実) 平成5年 ¹⁾ 平成6年 ²⁾	水和剤(50%) 1000倍希釈液 定植直前20分間 苗浸漬	沖縄農試 名護 ¹⁾	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			1	462	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		沖縄農試 八重山 ²⁾	沖縄農試 八重山 ²⁾	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				1	692	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
茶 (露地) 寒冷紗#610 で間接被覆 (荒茶) 昭和 61 年	水和剤(50%) 1000 倍・200L/10a 散布	神奈川園試 津久井	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	7	27.1	26.6	22.8	21.8
			1	14	2.87	2.86	3.39	3.22
			2	21	0.60	0.60	0.80	0.76
		愛知農試 豊橋	0	-	0.04	0.04	< 0.01	< 0.01
			1	7	48.1	48.1	45.6	45.0
			1	14	8.20	7.98	10.41	9.95
			2	21	2.41	2.39	2.47	2.40
茶 (露地) 寒冷紗#610 で間接被覆 (湯浸出液) 昭和 61 年	水和剤(50%) 1000 倍・200L/10a 散布	神奈川園試 津久井	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	7	0.15	0.15	0.51	0.47
			1	14	0.02	0.02	0.06	0.05
			2	21	< 0.01	< 0.01	0.02	0.02
		愛知農試 豊橋	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	7	0.34	0.33	1.03	0.98
			1	14	0.06	0.06	0.22	0.19
			2	21	0.02	0.02	0.07	0.06
茶 (露地) (荒茶) 平成 8 年	水和剤(50%) 2000 倍・200L/10a 散布	埼玉茶試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	21	0.54	0.52	0.46	0.44
		福岡総農試 八女	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	21	0.07	0.06	0.05	0.05
		京都茶試	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			1	21	-	-	0.40	0.39
茶 (露地) (荒茶) 平成 9 年	水和剤(50%) 2000 倍・200L/10a 散布	三重農技 センター	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	14	0.72	0.69	0.59	0.58
		福岡総農試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	14	0.77	0.76	0.58	0.57
		京都茶試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	14	2.74	2.74	2.54	2.43
茶 (露地) (荒茶) 平成 4 年	SC 剤(50%w/v) 2000 倍・200L/10a 散布	神奈川園試 津久井	0	-	0.03	0.03	0.10	0.10
			1	7	32.2	31.5	22.7	21.4
			1	14	2.78	2.68	2.11	2.10
			2	21	0.50	0.49	0.37	0.36
		高知農技 センター	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	7	31.1	30.6	18.9	18.6
			1	14	0.52	0.50	0.30	0.30
			2	21	0.17	0.16	0.12	0.12
茶 (露地) (湯浸出液) 平成 4 年	SC 剤(50%w/v) 2000 倍・200L/10a 散布	神奈川園試 津久井	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	7	0.48	0.46	0.47	0.38
			1	14	0.03	0.02	0.03	0.03
			2	21	< 0.01	< 0.01	0.02	0.02
		高知農技 センター	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	7	0.26	0.25	0.18	0.18
			1	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
食用ゆり (露地) (鱗茎) 平成 11 年	水和剤(50%) 1000 倍・200L/10a 散布	虻田郡 真狩村	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	28	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		北海道 中央農試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			5	14	0.03	0.02	0.03	0.02
			5	21	0.03	0.02	0.02	0.02
			5	28	0.03	0.02	0.03	0.02
食用ゆり (露地) (根部) 平成 16 年	水和剤(50%) 50 倍瞬間浸漬 1000 倍・200L/10a 散布 6 回 ¹⁾ 100 倍瞬間浸漬 1000 倍・200L/10a 散布 6 回 ²⁾	北海道 中央農試	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			7 ¹⁾	14	0.81	0.76	-	-
			7 ¹⁾	27	0.43	0.42	-	-
			7 ¹⁾	41	0.33	0.33	-	-
			7 ²⁾	14	0.47	0.44	-	-
			7 ²⁾	27	0.37	0.35	-	-
		北海道立 花・野菜技 センター	7 ²⁾	41	0.32	0.30	-	-
			0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			7 ¹⁾	14	0.35	0.34	-	-
			7 ¹⁾	28	0.34	0.32	-	-
			7 ¹⁾	42	0.30	0.30	-	-
			7 ²⁾	14	0.53	0.52	-	-
にんじん (露地) (根部) 平成 13 年	水和剤(50%) 166.7 倍希釈液 100L/10a 全面散布後 土壌混和 ¹⁾ 1000 倍・200L/10a 散布 3 回	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1 ¹⁾	98	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			4	14	0.10	0.10	0.09	0.09
			4	21	0.05	0.05	0.07	0.07
		新潟総研 農技センター	4	28	0.07	0.06	0.06	0.06
			0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1 ¹⁾	112	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			4	14	0.01	0.01	0.04	0.04
			4	21	0.03	0.03	0.07	0.06
			4	28	0.03	0.02	0.04	0.04
むかご (露地) (珠芽) 平成 16 年	水和剤(50%) 2000 倍・300L/10a 散布	青森農総 研センター	0	-	< 0.02	< 0.02	-	-
			4	7	0.40	0.40	-	-
			4	14	0.30	0.28	-	-
			4	21	0.10	0.09	-	-
		鳥取園試	0	-	< 0.02	< 0.02	-	-
			4	7	2.21	2.18	-	-
			4	14	1.79	1.76	-	-
			4	21	1.42	1.42	-	-

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
だいこん (露地) (根部) 平成 16 年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	日植防研	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			1	53	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			1	60	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			1	67	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
		岐阜植防	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			1	54	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			1	61	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			1	68	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
だいこん (露地) (葉部) 平成 16 年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	53	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	60	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	67	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		岐阜植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	54	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	61	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	68	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
だいこん (露地) (つまみ菜) 平成 16 年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	日植防研	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			1	7	-	-	< 0.01	< 0.01
		岐阜植防	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			1	8	-	-	0.02	0.02
だいこん (露地) (間引き菜) 平成 16 年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面土壌混和	日植防研	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			1	14	-	-	< 0.01	< 0.01
		岐阜植防	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			1	14	-	-	0.02	0.02
ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成 15 年	水和剤(50%) 100 倍種いも浸漬 + 166 倍・100L/10a 植付前全面散布後 土壌混和 + 250 倍・25L/10a 散布 4 回	北海道 植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	28	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	28	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
きんかん (露地) (果実全体) 平成 18 年	SC 剤(50%w/v) 2000 倍・300L/10a 散布	鹿児島 植防	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			1	14	-	-	0.28	0.28
			1	21	-	-	0.23	0.22
			1	30	-	-	0.21	0.20
シークワサー (露地) (果実全体) 平成 18 年	SC 剤(50%w/v) 2000 倍・600L/10a 散布	沖縄農試 名護支場	0	-	-	-	< 0.01	< 0.01
			1	14	-	-	0.61	0.61
			1	21	-	-	0.23	0.23
			1	28	-	-	0.23	0.23

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成 17 年	SC 剤(50%w/v) 200 倍・100L/10a 定植前土壌混和	群馬植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	71	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	78	< 0.01	< 0.01	0.02	0.02
			1	85	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		埼玉植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	71	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	78	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	85	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
レタス (施設、無袋) (茎葉 しんを除く) 平成 16 年	SC 剤(50%w/v) 200 倍・100L/10a 土壌混和	岩手植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	50	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	57	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	64	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	59	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	66	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	73	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
いちじく (露地、無袋) (果実 果柄を除く) 平成 17 年	SC 剤(50%w/v) 500 倍・100L/樹 土壌処理 500 倍・100L/樹 土壌灌注	兵庫植防	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	28	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	45	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	51	< 0.01	< 0.01	-	-
		和歌山 植防	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	30	0.01	0.01	-	-
			1	45	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	60	< 0.01	< 0.01	-	-
すもも (露地、無袋) (果実 果梗・種子を 除く) 平成 18 年	SC 剤(50%w/v) 500 倍・100L/樹 土壌灌注	長野 植防 須坂研究所	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	30	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	37	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	44	< 0.01	< 0.01	-	-
		和歌山 植防	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	30	0.01	0.01	-	-
			1	37	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	44	< 0.01	< 0.01	-	-

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
もも (露地、無袋) (果肉) 平成 13 年	SC 剤(50%w/v) 500 倍・100L/樹 土壌灌注 + 2000 倍・700L/10a 茎葉散布	福島植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	12	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	17	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		新潟総研 園芸研究 センター	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	6	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	12	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	18	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
もも (露地、無袋) (果皮) 平成 13 年	SC 剤(50%w/v) 500 倍・100L/樹 土壌灌注 + 2000 倍・700L/10a 茎葉散布	福島植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.04	< 0.04
			2	7	3.08	2.92	2.09	2.02
			2	12	1.16	1.12	0.82	0.80
			2	17	1.06	1.06	0.47	0.47
		新潟総研 園芸研究 センター	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.04	< 0.04
			2	6	1.85	1.84	0.21	0.20
			2	12	0.30	0.29	0.17	0.16
			2	18	0.48	0.47	0.17	0.17
たまねぎ (露地) (鱗茎) 平成 16 年	水和剤(50%) 50 倍定植前 苗根部浸漬 + 250 倍・25L/10a 茎葉散布	北海道 植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
うめ (露地、無袋) (果実) 平成 17 年	SC 剤(50%w/v) 500 倍・100L/樹 土壌灌注 + 2000 倍・300L/10a 茎葉散布	長野植防 南信	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	53	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	60	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	67	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		和歌山 植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	53	0.03	0.02	0.03	0.03
			2	60	0.02	0.02	0.02	0.02
			2	67	0.01	0.01	0.02	0.02

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
リーフレタス (露地、無袋) (茎葉 しんを除去) 平成 19 年	SC 剤(50%w/v) 200 倍・100L/10a 全面散布後 土壌混和	福島植防 郡山試験地	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	29	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	36	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	43	< 0.01	< 0.01	-	-
		三重植防	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	33	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	40	< 0.01	< 0.01	-	-
サラダ菜 (施設) (茎葉 しんを除去) 平成 19 年	SC 剤(50%w/v) 200 倍・100L/10a 全面散布後 土壌混和	長野植防 松代研究所	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	29	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	36	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	43	< 0.01	< 0.01	-	-
		三重植防	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	33	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	40	< 0.01	< 0.01	-	-
オータム ポエム (露地) (茎葉 花蕾含む) 平成 19 年	粉剤(0.5%) 40kg/10a 全面散布後 土壌混和	新潟植防	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	46	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	53	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	60	< 0.01	< 0.01	-	-
		愛知植防	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	39	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	46	< 0.01	< 0.01	-	-
			1	53	< 0.01	< 0.01	-	-

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果				
					公的分析機関		社内分析機関		
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	
ネクタリン (露地、無袋) (果実) 平成 20 年	SC 剤(50%w/v) 500 倍・100L/樹 土壌灌注	山梨 果樹試験場 (山梨市)	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-	
			1	14	< 0.01	< 0.01	-	-	
			1	21	< 0.01	< 0.01	-	-	
			1	28	< 0.01	< 0.01	-	-	
		ネクタリン (露地、有袋) (果実) 平成 20 年	山梨 果樹試験場 (甲州市)	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
				1	14	< 0.01	< 0.01	-	-
				1	21	< 0.01	< 0.01	-	-
				1	28	< 0.01	< 0.01	-	-
カリフラワー (露地、無袋) (花蕾) 平成 19 年	SC 剤(50%w/v) 200 倍・100L/10a 定植時土壌混和	長野植防 南信研究所	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			1	58	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			1	65	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			1	72	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
		徳島植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			1	103	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			1	110	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			1	117	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成 19 年	SC 剤(50%w/v) 100 倍種芋浸漬 + 167 倍・100L/10a 土壌混和 + 250 倍・25L/10a 散布 4 回	北海道 植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			6	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			6	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			6	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
		日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			6	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			6	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			6	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
たまねぎ (露地) (塊茎) 平成19年 平成20年	SC剤(50%w/v) 50倍定植前 苗根部浸漬 + 250倍・25L/10a 散布5回	北海道 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			6	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			6	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			6	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		日植防研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			6	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			6	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
てんさい (露地) (根部) 平成19年	SC剤(50%w/v) 100倍・1L/冊 苗床灌注 + 1000倍・200L/10a 株元散布4回	北海道 植防 糖業圃場	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	21	0.09	0.09	0.20	0.20
			5	28	0.04	0.04	0.12	0.12
		北海道 植防	5	35	0.08	0.08	0.06	0.06
			0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	21	0.07	0.07	0.09	0.08
			5	28	0.06	0.06	0.09	0.09
5	35	0.04	0.04	0.08	0.08			
小麦 (露地) (玄麦) 平成19年	SC剤(50%w/v) 167倍・100L/10a は種前土壌混和 + 250倍・25L/10a 散布2回	北海道 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	251	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	258	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	265	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	208	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	215	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
やまのいも (露地) (塊茎) 平成21年	SC剤(50%w/v) 2000倍・200L/10a 散布4回	青森植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		石川植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
4	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
ブルーベリー (露地) (果実) 平成 22 年	SC 剤(50%w/v) 500 倍・100L/樹 土壌灌注	長野 果樹試験場 (上田市)	0	-	< 0.02	< 0.02	-	-
			1	21	< 0.02	< 0.02	-	-
			1	30	< 0.02	< 0.02	-	-
			1	45	< 0.02	< 0.02	-	-
		長野 果樹試験場 (信濃町)	0	-	< 0.02	< 0.02	-	-
			1	21	< 0.02	< 0.02	-	-
			1	30	< 0.02	< 0.02	-	-
			1	45	< 0.02	< 0.02	-	-
ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成 22 年	SC 剤(50%w/v) 100 倍種芋浸漬 + 166.7 倍・100L/10a 土壌混和 + 1000 倍・ 200、198L/10a 散布 4 回	北海道 植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	21	< 0.01	< 0.01	0.02	0.02
		日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
たまねぎ (露地) (塊茎) 平成 22 年	SC 剤(50%w/v) 50 倍定植前 苗根部浸漬 + 1000 倍・ 200、176L/10a 散布 5 回	北海道 植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		日植 防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	3	< 0.01	< 0.01	0.01	0.01
			6	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
いちご (施設) (果実) 平成 22 年 平成 23 年	SC 剤(50%w/v) 1000 倍・50mL/株 定植前灌注	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	143	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	150	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	157	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		日植防研 宮崎	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	70	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	77	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			1	84	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培/形態) (分析部位) 試験年度	剤型(有効成分量) 希釈倍数・散布水量 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最大値 (ppm)	平均値 (ppm)	最大値 (ppm)	平均値 (ppm)
あずき (露地) (乾燥子実) 平成 22 年	SC 剤(50%w/v) 1000 倍・ 200、198L/10a 散布 3 回	北海道 植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			3	14	0.03	0.03	0.02	0.02
			3	21	0.01	0.01	< 0.01	< 0.01
			3	28	0.02	0.02	0.01	0.01
		青森植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			3	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			3	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			3	27	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
いんげんまめ (露地) (乾燥子実) 平成 22 年	SC 剤(50%w/v) 1000 倍・ 200、180L/樹 散布 3 回	北海道 植防	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			3	7	< 0.01	< 0.01	-	-
			3	14	< 0.01	< 0.01	-	-
			3	21	< 0.01	< 0.01	-	-
		日植防研 成東	0	-	< 0.01	< 0.01	-	-
			3	7	0.01	0.01	-	-
			3	14	0.01	0.01	-	-
			3	21	< 0.01	< 0.01	-	-

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

5.1A 代謝物の作物残留 (参考)

分析対象化合物

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

分析方法：

試験結果： 試験結果を次頁に示す。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型	試料調製場所	使用回数	経過日数	分 析 結 果 (親化合物換算 ppm)																
					1		2		3		4		5								
					最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値							
小麦 (露地) (種子) 昭和62年	水和剤 (50%) 1000倍 散布	北海道 上川	0	-																	
			2	58																	
		北海道 北見	0	-																	
			2	64																	
あずき (露地) (乾燥子実) 昭和63年	水和剤 (50%) 1000倍 散布	北海道 中央	0	-																	
			3	14																	
		北海道 十勝	0	-																	
			3	14																	
いんげんまめ (露地) (乾燥子実) 昭和61年	水和剤 1000倍 散布	福島 植防	0	-																	
			3	14																	
		福岡 農試 豊前	0	-																	
			3	14																	
さやいんげん (露地) (さや) 昭和61年	水和剤 1000倍 散布	福島 植防	0	-																	
			3	14																	
		福岡 農試 豊前	0	-																	
			3	14																	
ばれいしょ (露地)(塊茎) 昭和62年	水和剤 1000倍 散布	長野 植防 防研	0	-																	
			4	14																	
ばれいしょ (露地)(塊茎) 昭和63年	水和剤 1000倍 散布	長崎 農試 愛野	0	-																	
			4	14																	
ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成3年	水和剤 50倍 種子吹 付け 種子瞬 間浸漬 ²⁾	日植 防研	0	-																	
			1 ¹⁾	92																	
		日植防 宮崎	0	-																	
			1 ¹⁾	84																	
ばれいしょ (露地) (塊茎) 昭和63年	粉剤 40kg/10a 全面土 塊混和 ¹⁾ 0.5%種 芋混粉 衣 ²⁾	日植 防研	0	-																	
			1 ¹⁾	97																	
		長野 農試	0	-																	
			1 ¹⁾	78																	
やまのいも (露地) (塊根) 平成7年	水和剤 2000倍 散布	日植 防研	0	-																	
			4	14																	
		鳥取 植防	0	-																	
			4	14																	
てんさい (露地) (根部) 平成4年	粉剤 10g/床 1kg 育苗床土 塊混和	日植 防研	0	-																	
			1	185																	
		鳥取 植防	0	-																	
1	192																				
てんさい (露地) (葉部) 平成4年	粉剤 10g/床 1kg 育苗床土 塊混和	日植 防研	0	-																	
			1	185																	
		鳥取 植防	0	-																	
1	192																				
てんさい (露地) (根部) 平成13年	水和剤 100倍 3L/m ² 苗床灌注 1回 1000倍 株元散布 4回	北海道 植防 札幌	0	-																	
			5	21																	
			5	30																	
		北海道 植防 音更	0	-																	
			5	21																	
			5	30																	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型	試料調製場所	使用回数	経過日数	分 析 結 果 (親化合物換算 ppm)											
					1		2		3		4		5			
					最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値		
かぶ (露地) (根部) 昭和62年	粉剤 40kg/10a 全面土 壤混和	日植 防研	0	-												
			1	46												
		鳥取 園試	0	-												
			1	75												
かぶ (露地) (葉部) 昭和62年	粉剤 40kg/10a 全面土 壤混和	日植 防研	0	-												
			1	46												
		鳥取 園試	0	-												
			1	75												
はくさい (露地) (茎葉) 平成13年	S C 剤 200 倍 全面 散布後 土壌混和	日植 防研	0	-												
			1	71												
		群馬 園試	0	-												
			1	48												
はくさい (露地) (茎葉) 昭和62年	粉剤 40kg/10a 全面土 壤混和	茨城 園試	0	-												
			1	95												
		奈良 植防	0	-												
			1	84												
キャベツ (露地) (葉球) 平成13年	S C 剤 300 倍	岩手 植防	0	-												
			1	69												
	S C 剤 200 倍	群馬 園試	0	-												
			1	85												
キャベツ (露地) (葉球) 平成15年	S C 剤 400 倍	岩手 植防	0	-												
			2	60												
			2	67												
		岐阜 植防	2	74												
			2	62												
			2	69												
2	76															
キャベツ (露地) (葉球) 昭和62年	粉剤 40kg/10a 全面土 壤混和	日植 防研	0	-												
			1	48												
		滋賀 短大	0	-												
			1	64												
メキャベツ (露地) (芽球) 平成6年	粉剤 40kg/10a 全面土 壤混和	山形 園試	0	-												
			1	93												
		長野 野菜試	0	-												
			1	147												
カリフラワー (露地) (花蕾) 平成2年	粉剤 40kg/10a 全面土 壤混和	日植 防研	0	-												
			1	43												
		長野 農試	0	-												
			1	48												
ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成2年	粉剤 40kg/10a 全面土 壤混和	日植 防研	0	-												
			1	41												
		日植防 宮崎	0	-												
			1	65												
なばな (露地) (茎葉) 平成2年	粉剤 40kg/10a 全面土 壤混和	千葉 園試	0	-												
			1	75												
		三重 農枝	0	-												
			1	60												
のぞわな (露地) (茎葉) 平成2年	粉剤 40kg/10a 全面土 壤混和	長野 植防	0	-												
			1	63												
		徳島 農試	0	-												
			1	97												
みずかけな (露地) (茎葉) 平成7年	粉剤 40kg/10a 全面土 壤混和	静岡 御殿場	0	-												
			1	147												
		静岡 駿東	0	-												
			1	152												
ちんげんさい (露地) (茎葉) 平成6年	粉剤 40kg/10a 全面土 壤混和	埼玉 園試	0	-												
			1	26												
		静岡 農試	0	-												
			1	44												

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型	試料調製場所	使用回数	経過日数	分 析 結 果 (親化合物換算 ppm)																		
					1		2		3		4		5										
					最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値									
ひろしまな (露地) (茎葉) 平成 14 年	粉剤 40kg/10a 全面土 壌混和	広島 農技 センター	0	-																			
			1	33																			
			1	40																			
			1	48																			
山形 みどりな (露地) (茎葉) 平成 14 年	粉剤 40kg/10a 全面土 壌混和	山形 園試	0	-																			
			1	21																			
			1	35																			
		山形 農研 センター	1	49																			
			0	-																			
			1	21																			
ごぼう (露地) (根部) 平成 11 年	水和剤 1000 倍 散布	北海道 植防	0	-																			
			3	7																			
			3	14																			
		日植 防研	3	21																			
			0	-																			
			3	7																			
レタス (露地) (茎葉) 平成 7 年	粉剤 30kg/10a 全面土 壌混和	日植 防研	0	-																			
			1	42																			
			0	-																			
		日植防 宮崎	1	49																			
			0	-																			
			5	7																			
たまねぎ (露地) (鱗茎) 昭和 62 年	水和剤 1000 倍 散布	日植 防研	5	14																			
			0	-																			
			5	7																			
		兵庫 農技	5	14																			
			0	-																			
			5	7																			
たまねぎ (露地) (鱗茎) 平成 3 年	水和剤 50 倍 5 分間 浸漬	北海道 農試	0	-																			
			1	119																			
		長野 植防	0	-																			
			1	236																			
ねぎ(根深) (露地) (根深) 平成 3 年	粉剤 15kg/10a 株元処理	日植 防研	0	-																			
			2	21																			
		千葉 農試	0	-																			
			2	21																			
ねぎ(葉) (露地)(葉) 平成 3 年	粉剤 15kg/10a 株元処理	滋賀 植防	0	-																			
			2	21																			
		長野 植防	0	-																			
			2	21																			
7が'ガス (露地) (若葉) 平成 3 年	水和剤 1000 倍 散布	岩手 園試	0	-																			
			5	293																			
		長野 植防	0	-																			
			5	247																			
らっきょう (露地) (鱗茎) 平成 6 年	水和剤 1000 倍 散布	福井 植防	0	-																			
			5	7																			
			5	14																			
		鳥取 園試	0	-																			
			5	7																			
			5	14																			
にら (露地) (茎葉) 平成 6 年	粉剤 20kg/10a 株元処理	福井 植防	0	-																			
			1	30																			
		群馬 防除所	0	-																			
			1	30																			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型	試料調製場所	使用回数	経過日数	分 析 結 果 (親化合物換算 ppm)																	
					1		2		3		4		5									
					最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値								
食用ゆり (露地) (鱗茎) 平成 11 年	水和剤 1000 倍 散布	虹田郡 真狩村	0	-																		
			5	14																		
			5	21																		
		北海道 中央 農試	0	-																		
			5	14																		
			5	21																		
			5	28																		
にんじん (露地) (根部) 平成 13 年	水和剤 166.7 倍 全面散布 後土壌 混和 ¹⁾	日植 防研	0	-																		
			1	98																		
			4	14																		
			4	21																		
		新潟 総研 農技 セカ-	4	28																		
			0	-																		
			1	112																		
			4	14																		
			4	21																		
			4	28																		
温州みかん (施設) (果肉) 昭和 62 年	水和剤 1000 倍 散布	愛知 園研 蒲部	0	-																		
			2	30																		
			2	60																		
		鹿児島 果試	0	-																		
			2	30																		
温州みかん (施設) (果皮) 昭和 62 年	水和剤 1000 倍 散布	愛知 園研 蒲部	0	-																		
			2	30																		
			2	60																		
		鹿児島 果試	0	-																		
			2	30																		
温州みかん (施設) (果肉) 平成 4 年	S C 剤 2000 倍 散布	静岡 柑試	0	-																		
			2	30																		
			2	60																		
		香川 府中	0	-																		
			2	30																		
夏みかん (露地) (果肉) 昭和 63 年	水和剤 1000 倍 散布	神奈川 園試根 府川	0	-																		
			2	30																		
			2	60																		
		徳島果 試県北	0	-																		
			2	30																		
夏みかん (露地) (果皮) 昭和 63 年	水和剤 1000 倍 散布	神奈川 園試根 府川	0	-																		
			2	30																		
			2	60																		
		徳島果 試県北	0	-																		
			2	30																		
夏みかん (露地) (果肉) 平成 5 年	S C 剤 2000 倍 散布	三重 農技	0	-																		
			2	30																		
			2	29																		
		大分 植防	0	-																		
			2	29																		
夏みかん (露地) (果皮) 平成 5 年	S C 剤 2000 倍 散布	三重 農技	0	-																		
			2	30																		
			2	29																		
		大分 植防	0	-																		
			2	29																		
りんご (無袋) (果皮) 昭和 61 年	水和剤 1000 倍 散布	長野 植防	0	-																		
			5	21																		
			5	30																		
			5	45																		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型	試料調製場所	使用回数	経過日数	分 析 結 果 (親化合物換算 ppm)																			
					最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値										
りんご (無袋) (果実) 昭和62年	水和剤 1000倍 散布	岩手 園試	0	-																				
			5	21																				
			5	28																				
			5	43																				
りんご (露地、無袋) (果実) 昭和63年	水和剤 1000倍 散布	青森 りんご 試	0	-																				
			5	21																				
			5	30																				
			5	45																				
		岩手 園試	0	-																				
			5	21																				
			5	30																				
			5	45																				
		長野 植防	0	-																				
			5	21																				
			5	30																				
			5	45																				
石川 植防	0	-																						
	5	21																						
	5	31																						
	5	45																						
りんご (露地、無袋) (果実) 平成4年	S C 剤 2000倍 散布	長野 植防	0	-																				
			5	45																				
			5	45																				
りんご (露地、無袋) (果実) 平成10年	S C 剤 500倍 土壌 灌注	岩手 植防	0	-																				
			1	45																				
			1	60																				
りんご (露地、無袋) (果実) 平成10年	S C 剤 500倍 土壌 灌注	石川 植防	0	-																				
			1	45																				
			1	60																				
りんご (露地、無袋) (果実) 平成10年	S C 剤 500倍 土壌 灌注	長野 果試	0	-																				
			1	165																				
りんご 無袋 果皮 平成14年	S C 剤 500倍 土壌 灌注	岩手 植防	0	-																				
			2	45																				
			2	52																				
	2000倍 散布1回	福島 植防	2	59																				
			0	-																				
			2	45																				
日本なし (無袋) (果実) 昭和62年	水和剤 1000倍 散布	岩手 園試	0	-																				
			5	14																				
			5	21																				
			5	30																				
		鳥取 果試	5	45																				
			0	-																				
			5	14																				
			5	21																				
			5	30																				
5	45																							

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型	試料調製場所	使用回数	経過日数	分 析 結 果										(親化合物換算 ppm)				
					最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値			
もも (無袋) (果皮) 昭和61年	水和剤 1000倍 散布	長野 植防	0	-															
			4	7															
			4	14															
		福岡 農試 豊前 分場	0	-															
			4	7															
			4	14															
			4	21															
もも (露地、無袋) (果肉) 平成4年	S C 剤 2000倍 散布	長野 植防	0	-															
			4	7															
		福岡 農試	0	-															
もも (露地、無袋) (果皮) 平成4年	S C 剤 2000倍 散布	福岡 農試	4	7															
		4	7																
うめ (露地、無袋) (果実) 平成5年	水和剤 2000倍 散布	群馬 園試	0	-															
			1	45															
		1	60																
		和歌山 果試	0	-															
1	45																		
うめ (露地、無袋) (果実) 平成8年	S C 剤 2000倍 散布	群馬 園試	1	60															
			1	60															
うめ (露地、無袋) (果実) 平成12年	S C 剤 500倍 土壌 灌注	福井 園試	0	-															
			1	59															
		1	89																
		和歌山 植防	0	-															
1	60																		
おうとう (施設) (果実) 平成13年	S C 剤 500倍 土壌 灌注	岩手 植防	0	-															
			1	30															
		1	45																
		福島 植防	0	-															
1	30																		
ぶどう (施設、無袋) (果実) 昭和61年	水和剤 2000倍 散布	奈良 農試	0	-															
			3	30															
			3	45															
		島根 農試	3	60															
			0	-															
			3	30															
ぶどう (施設、無袋) (果実) 平成2年	水和剤 100倍 休眠期樹 幹散布	秋田 果試	4	141															
山梨 果試		0	-																
4		125																	
ぶどう (施設、無袋) (果実) 平成4年	S C 剤 2000倍 散布	大阪 農試	0	-															
		奈良 農試	3	60															
		3	59																
ぶどう・大粒 (施設、無袋) (果実) 平成4年	S C 剤 2000倍 散布	長野 植防	0	-															
		岡山 農試	3	60															
		0	-																

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型	試料調製場所	使用回数	経過日数	分 析 結 果 (親化合物換算 ppm)																	
					最大値		平均値		最大値		平均値		最大値		平均値							
					最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値								
ぶどう 小粒 ¹⁾ 大粒 ²⁾ (施設、無袋) (果実) 平成8年	SC剤 500倍 土壌 灌注	山形 ¹⁾ 農試	0	-																		
			1	143																		
		岡山 ²⁾ 農試	0	-																		
			1	166																		
ぶどう 小粒・大粒 (施設、無袋) (果実) 平成13年	SC剤 500倍 土壌灌 注1回 2000倍 散布1回	秋田 果試	0	-																		
			2	21																		
			2	28																		
		岡山 農試	0	-																		
			2	21																		
			2	28																		
かき (露地、無袋) (果実) 平成6年	SC剤 2000倍 散布	岐阜 植防	0	-																		
			3	45																		
			3	59																		
		和歌山 園試	0	-																		
			3	45																		
			3	60																		
柿 ¹⁾ 柿 ²⁾ (露地、無袋) (果肉) 昭和63年	水和剤 1000倍 散布	静岡 柑橘	0	-																		
			4	30																		
		長崎 果試	0	-																		
			4	29																		
柿 ¹⁾ 柿 ²⁾ (露地) (果肉) 平成4年	SC剤 2000倍 散布	静岡 柑橘	0	-																		
			4	31																		
		佐賀 果試	0	-																		
			4	32																		
ハ ¹⁾ 行 ²⁾ アップル (露地) (果実) 平成5年 ¹⁾ 平成6年 ²⁾	水和剤 1000倍 定植直前 20分間 苗浸漬	沖縄 ¹⁾ 名護	0	-																		
			1	462																		
		沖縄 ²⁾ 八重山	0	-																		
1	692																					
茶 (露地) 寒冷紗 #610で 間接被覆 荒茶 昭和61年	水和剤 1000倍 散布	神奈川 園試	0	-																		
			1	7																		
			2	14																		
		愛知 農試	0	-																		
			1	7																		
			2	14																		
茶 (露地) 寒冷紗 #610で 間接被覆 浸出液 昭和61年	水和剤 1000倍 散布	神奈川 園試	0	-																		
			1	7																		
			2	14																		
		愛知 農試	0	-																		
			1	7																		
			2	14																		
茶 (露地) (荒茶) 平成9年	水和剤 2000倍 散布	三重 農技	0	-																		
			1	14																		
		福岡 総試	0	-																		
			1	14																		
京都 茶試	0	-																				
	1	14																				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型	試料調製場所	使用回数	経過日数	分 析 結 果 (親化合物換算 ppm)																		
					1		2		3		4		5										
					最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値									
茶 (露地) (荒茶) 平成4年	S C 剤 2000 倍 散布	神奈川 園試	0	-																			
			1	7																			
			1	14																			
		高知 農技	2	21																			
			0	-																			
			1	7																			
茶 (露地) (湯浸出液) 平成4年	S C 剤 2000 倍 散布	神奈川 園試	1	14																			
			2	21																			
			0	-																			
		高知 農技	1	7																			
			1	14																			
			2	21																			
だいこん (露地) (根部) 平成16年	粉剤 (0.5%) 40kg/10 a 全面土 壌混和	日植 防研	0	-																			
			1	53																			
			1	60																			
		岐阜 植防	1	67																			
			0	-																			
			1	54																			
だいこん (露地) (葉部) 平成16年	粉剤 (0.5%) 40kg/10 a 全面土 壌混和	日植 防研	1	61																			
			1	68																			
			0	-																			
		岐阜 植防	1	53																			
			1	60																			
			1	67																			
だいこん (露地) (つまみ菜) 平成16年	粉剤 (0.5%) 40kg/10 a 全面土 壌混和	日植 防研	0	-																			
			1	7																			
			0	-																			
だいこん (露地) (間引き菜) 平成16年	粉剤 (0.5%) 40kg/10 a 全面土 壌混和	岐阜 植防	1	8																			
			0	-																			
			1	14																			
ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成15年	水和剤 (50%) 100 倍 浸漬 166 倍 混和 250 倍 散布	北海道 植防	0	-																			
			6	14																			
			6	21																			
		日植 防研	6	28																			
			0	-																			
			6	14																			
きんかん (露地) (果実全体) 平成18年	S C 剤 2000 倍 散布	鹿児島 植防	6	21																			
			6	28																			
			1	30																			
シークワサー (露地) (果実全体) 平成18年	S C 剤 2000 倍 散布	沖縄 農試 名護	0	-																			
			1	14																			
			1	21																			
			1	28																			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型	試料調製場所	使用回数	経過日数	分 析 結 果										(親化合物換算 ppm)					
					1		2		3		4		5		6					
					最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値				
ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成 17 年	S C 剤 200 倍 定植前 土壌 混和	群馬 植防	0	-																
			1	71																
			1	78																
		埼玉 植防	1	85																
			0	-																
			1	71																
レタス (施設) (茎葉) 平成 16 年	S C 剤 200 倍 土壌 混和	岩手 植防	0	-																
			1	50																
			1	57																
		日植 防研	1	64																
			0	-																
			1	59																
もも (露地) (無袋) (果肉) 平成 13 年	S C 剤 500 倍 灌注 2000 倍 散布	福島 植防	0	-																
			2	7																
			2	12																
		新潟 総研	2	17																
			0	-																
			2	6																
もも (露地) (無袋) (果皮) 平成 13 年	S C 剤 500 倍 灌注 2000 倍 散布	福島 植防	2	12																
			2	17																
			0	-																
		新潟 総研	2	6																
			2	12																
			2	18																
たまねぎ (施設) (鱗茎) 平成 16 年	水和剤 (50%) 50 倍 浸漬 250 倍 散布	北海道 植防	0	-																
			6	3																
			6	7																
		日植 防研	6	14																
			0	-																
			6	3																
うめ (露地) (無袋) (果実) 平成 17 年	S C 剤 200 倍 土壌 混和	長野 植防 南信	0	-																
			2	53																
			2	60																
		和歌山 植防	2	67																
			0	-																
			2	53																
カリフラワー (露地) (無袋) (花蕾) 平成 19 年	S C 剤 200 倍 土壌 混和	長野 植防 南信	2	60																
			2	67																
			0	-																
		徳島 植防	1	103																
			1	110																
			1	117																

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型	試料調製場所	使用回数	経過日数	分 析 結 果													
					最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値		
いちご (施設) (果実) 平成 22 年 平成 23 年	S C 剤 1000 倍 灌注	日植 防研	0	-														
			1	143														
			1	150														
		日植 防研 宮崎	1	157														
			0	-														
			1	70														
			1	77														
あずき (畝地) (乾燥子実) 平成 22 年	S C 剤 1000 倍 散布	北海道 植防	0	-														
			3	14														
			3	21														
		青森 植防	3	28														
			0	-														
			3	14														
			3	21														
3	27																	